

iZ2シリーズ

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/S) Ver.5.1.0.X

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/M) Ver.5.1.0.X

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/L) Ver.5.1.0.X

取扱説明書

利用規約

本規約に同意戴いた場合のみダウンロード及び使用して戴くことができます。

1. 著作権

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/S)、パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/M)、パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/L) (以下本プログラムという)の著作権は株式会社日立製作所、株式会社日立コミュニケーションテクノロジー及び株式会社ナカヨ通信機にあります。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

2. 使用範囲

本プログラムの使用は工事データ設定及び電話帳データ設定に限る。

3. 複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の据付・メンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

4. 制限事項

他者に本ソフトウェアの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本ソフトウェアを電送してはならない。本ソフトウェアは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本ソフトウェアを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本ソフトウェアやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本ソフトウェアやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5. 本ソフトウェアの所有権

使用にあたっての登録会社はソフトウェアが記録或いは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本ソフトウェア、並びにその後作成される本ソフトウェアのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体に拘らず、当社が保持する。

6. 機密保持

使用にあたっての登録会社は、本ソフトウェアの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本ソフトウェアをいかなる第三者にも開示しないこと。更に、登録していない人物に本ソフトウェアに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

8. 輸出

本ソフトウェアまたは関連文献をいかなる形態においても輸出または再輸出しないこと。

【注意】 本プログラムを使用して旧 iZシリーズ主装置のパソコンデータ設定を行うことはできません。
旧 iZシリーズ主装置のパソコンデータ設定を行う場合は、「パソコンデータ設定用プログラム (iZ/「」)」
を使用してください。

【お願い】 古いバージョンのプログラムを使用した場合、本取扱説明書の内容と一部異なる点があります。
必ず最新版のプログラムと取扱説明書をお使いください。

— 目次 —

第1部 《概要編》

1.はじめに (必ずお読みください)	1- 1
1- 1 本プログラムの概要	1- 1
1- 2 パソコン側の条件	1- 2
1- 3 本プログラムの新規インストール	1- 2
1- 4 本プログラムのバージョンアップ	1- 3
1- 5 本プログラムのアンインストール	1- 3
1- 6 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの注意事項	1- 4
1- 7 旧 Vシリーズのデータを利用するとき	1- 4

第2部 《パソコンデータ設定編》

1.本プログラムの操作の流れ	2- 1
2.プログラムの起動~主装置データアップロード	2- 2
3.ユーザー情報設定	2- 4
4.データ設定	2- 5
5.システム短縮設定	2- 8
CSVファイルを利用するには...	2- 11
6.電話機毎短縮設定	2- 12
7.システムデータシート印刷	2- 15
8.主装置データダウンロード~プログラムの終了	2- 19
9.主装置交換時の処置方法	2- 21

第3部 《パソコンリモートサービス編》

1.本プログラムの操作の流れ	3- 1
2.プログラムの起動	3- 2
3.ユーザー情報設定	3- 3
4.リモート主装置データアップロード/リモート短縮データアップロード	3- 4
5.データ設定	3- 8
6.システム短縮設定	3- 11
7.電話機毎短縮設定	3- 14
8.システムデータシート印刷	3- 17
9.リモート主装置データダウンロード/リモート短縮データダウンロード~プログラムの終了	3- 19
10.お客様と通話後にリモートサービスを行うとき	3- 25

本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。

第1部 概要編

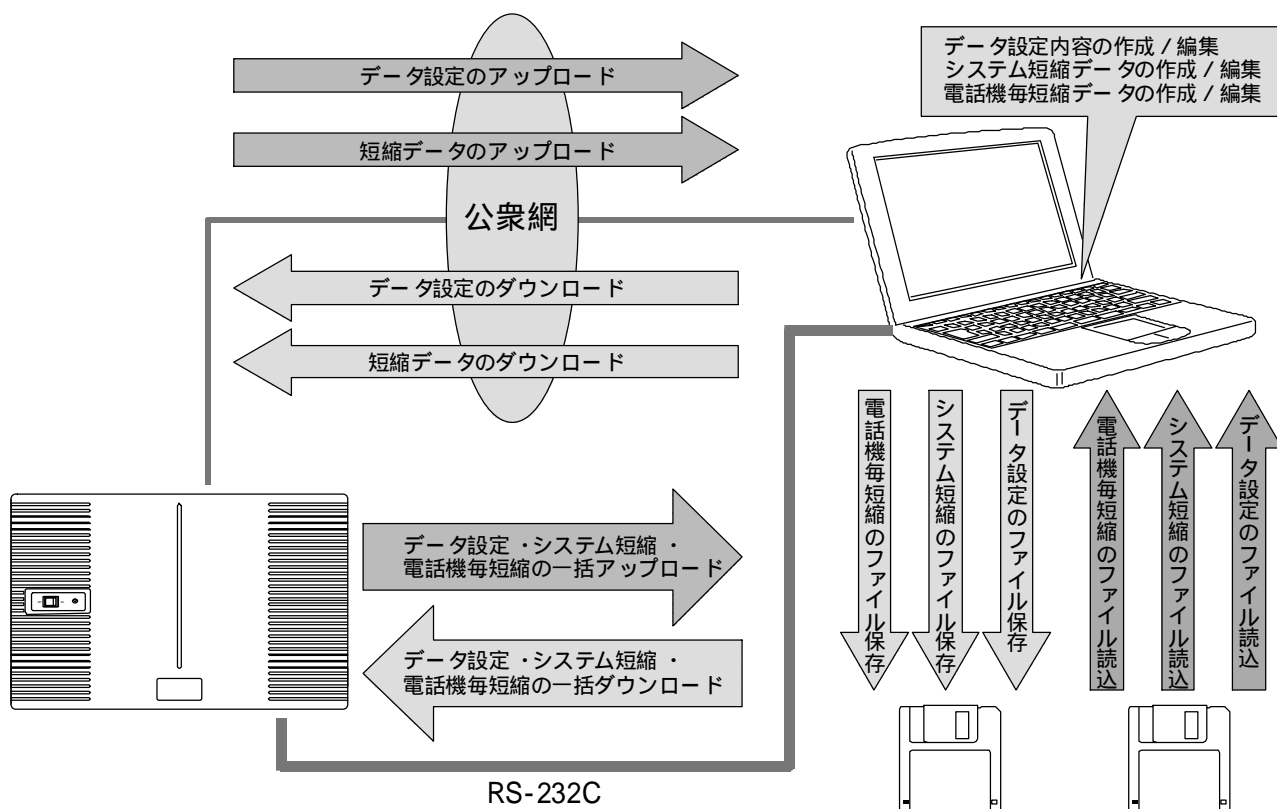
1.はじめに (必ずお読みください)

1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

パソコンデータ設定 詳細は第2部参照	主装置のデータをパソコンにアップロードする データ設定、システム短縮、電話機毎短縮を一括で吸い上げます。 新規工事以外の主装置にダウンロードを行う場合も、必ず最初に実行してください。
	パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読み込みも可能です。 「工事 保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。
	パソコン上でシステム短縮データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読み込みも可能です。
	パソコン上で電話機毎短縮データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読み込みも可能です。
	パソコン上のデータを主装置にダウンロードする データ設定、システム短縮、電話機毎短縮を一括で書き込みます。
パソコンリモートサービス 詳細は第3部参照	主装置のデータを公衆回線を使ってパソコンにアップロードする 主装置を直接接続してアップロードを行う場合と異なり、データ設定のアップロード、短縮データ(システム短縮および電話機毎短縮)のアップロードは、別々に行います。 初期状態でない主装置にダウンロードを行う場合も、必ず最初に実行してください。
	パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読み込みも可能です。 「工事 保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。
	パソコン上でシステム短縮データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読み込みも可能です。
	パソコン上で電話機毎短縮データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読み込みも可能です。
	パソコン上のデータを公衆回線を使って主装置にダウンロードする 主装置を直接接続してダウンロードを行う場合と異なり、データ設定のダウンロード、短縮データ(システム短縮および電話機毎短縮)のダウンロードは、別々に行います。

* パソコン単独でもデータ設定、短縮データの作成、ファイル保存、ファイルからの読み込みも可能です。(事前に設定ファイルを作成するときなど)



1-2 パソコン側の条件

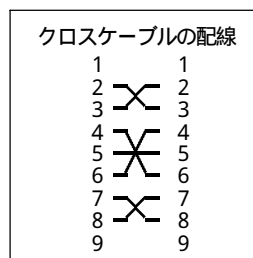
- (1)パソコン：DOS/V (PC-AT互換機)
- (2)OS：Windows[®] 98SE 日本語版、Windows[®] Me 日本語版、Windows[®] 2000 日本語版、Windows[®] XP Home Edition 日本語版、Windows[®] XP Professional 日本語版
- (3)CPU：Intel[®] Celeron[™] 500MHz相当以上
- (4)必要メモリ容量：64MB以上 Windows[®] XPの場合は、OSが動作可能なメモリ容量(256MB以上)が必要
- (5)ハードディスク容量：50MB以上 (セットアップ時)
- (6)画面サイズ：800×600ピクセル以上 (パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/S)の場合)
1024×768ピクセル以上 (パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/M)、(iZ2/L)の場合)
- (7)必要なハードウェア：COMポート(RS-232C、Dサブ9ピンコネクタ)
USB RS-232C変換アダプタは、(株)アイ・オー・データ機器製「USB-RSAQ2」、エレコム(株)製「UC-SGT」のみ使用可能
- (8)主装置との接続：両端Dサブ9ピンメスコネクタのインターリンク接続用クロスケーブル(5m以内)
(ケーブルの配線は右図のとおりです。異なる配線のケーブルは使用できません。)

パソコンリモートサービスを行う場合は、アナログ回線用のモデムが必要です。(ISDN回線を使用する場合は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータも必要です。ターミナルアダプタ/ダイヤルアップルータのアナログポートにパソコンのモデムを接続します。)

お客様と通話後にパソコンリモートサービスを行う場合のモデムは、外付けの単独電話機からダイヤル後にモデムへの接続切替が可能な機種のみです。

接続確認機種：(株)アイ・オー・データ機器製「DFML-560EL」

以降の説明では、パソコンをPCと省略して記載する場合があります。



1-3 本プログラムの新規インストール

初めて本プログラムをインストールする手順は下記のとおりです。

ダウンロードしたファイルを実行します。

以降、画面の指示に従ってください。

標準インストール先

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/S) の場合... C:\Program Files\iZ_DAT_2_S\フォルダ

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/M) の場合... C:\Program Files\iZ_DAT_2_M\フォルダ

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/L) の場合... C:\Program Files\iZ_DAT_2_L\フォルダ

プログラム名

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/S) の場合... DDUPA-IZ2S.exe

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/M) の場合... DDUPA-IZ2M.exe

パソコンデータ設定用プログラム (iZ2/L) の場合... DDUPA-IZ2L.exe

本プログラムをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

本プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラ等で、上記インストール先のフォルダにある本プログラムのファイルを右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。

本プログラム起動後の『メイン画面』でもバージョンが表示されます。

Windows[®] 2000、Windows[®] XPのパソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。

Windows[®] 98SEはMicrosoft[®] Windows[®] 98 Second Edition operating systemの略です。

Windows[®] MeはMicrosoft[®] Windows[®] Millennium Edition operating systemの略です。

Windows[®] 2000はMicrosoft[®] Windows[®] 2000 operating systemの略です。

Windows[®] XPはMicrosoft[®] Windows[®] XP operating systemの略です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

1-4 本プログラムのバージョンアップ

以前、本プログラムを使用していて、最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

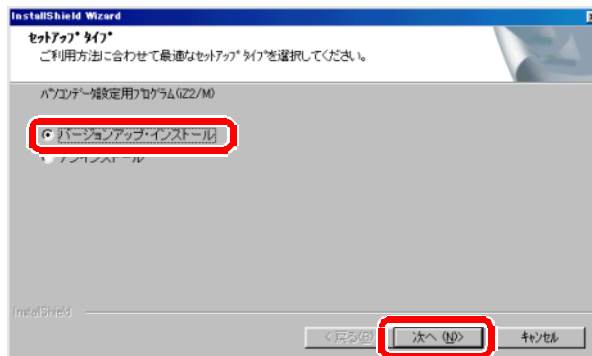
ダウンロードしたファイルを実行します。

右記のような画面が何度か出る場合がありますので、**はい (Y)** をクリックしてください。



しばらくすると『セットアップタイプ画面』となります。

『バージョンアップ・インストール』を選択し、**次へ (N)** をクリックしてください。



以降、画面の指示に従ってください。

インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。

1-5 本プログラムのアンインストール

本プログラムをパソコンから削除する場合は、下記の手順で行います。

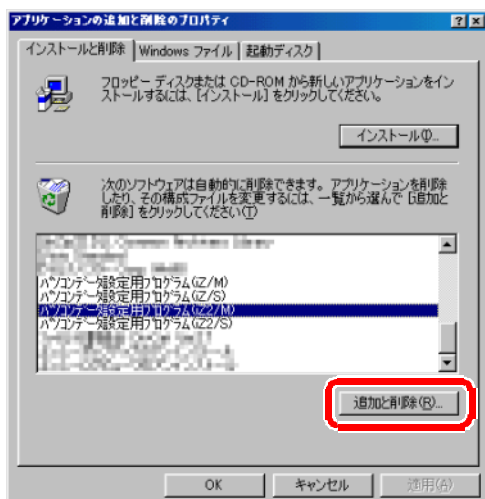
Windows® 98SE、Windows® Me の場合

【マイコンピュータ】 【コントロールパネル】
【アプリケーションの追加と削除】を選択します。

削除したいプログラムを選択し、

追加と削除 (R) をクリックします。

(下図はWindows® 98SEにて『パソコンデータ設定用プログラム (Z2/M)』を選択した例)

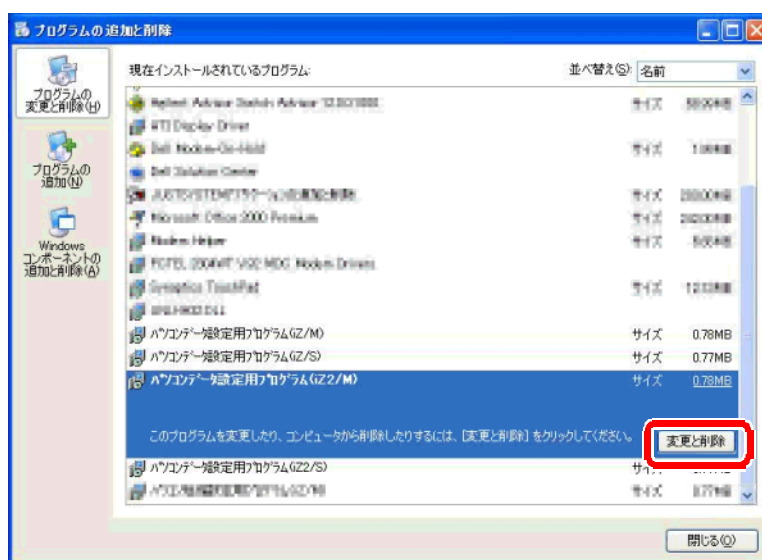


Windows® 2000、Windows® XP の場合

【マイコンピュータ】 【コントロールパネル】
【プログラムの追加と削除】を選択します。

削除したいプログラムを選択し、**変更と削除** をクリックします。

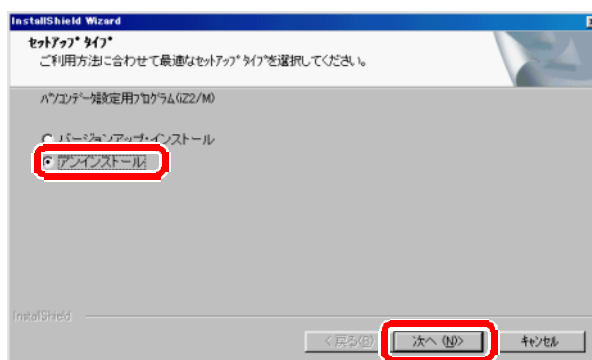
(下図は Windows® XPにて『パソコンデータ設定用プログラム (Z2/M)』を選択した例)



しばらくすると『セットアップタイプ画面』となります。

『アンインストール』を選択し、**次へ (N)** をクリックしてください。

以降、画面の指示に従ってください。



1-6 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの注意事項


データ設定済の主装置に対してデータ設定や短縮データを変更するときは、下記に注意してください。

ご注意

本アプリケーションで設定/変更したデータ設定を主装置にダウンロードすると、パソコン側でデータ設定可能なデータ以外は初期状態となります。

初期状態となったデータは再設定が必要ですので、紙などに記録しておいてください。

再設定が必要なデータ

・工事 保守マニュアル(2.データ設定マニュアル編)、「コマンド説明」のコマンド欄に  が記載されているコマンド(*034、*035を除く)。

・データ設定で対応していないコマンド

※ 00:設定電話機、※ 01:着信拒否、※ 02:非通知着信拒否、※ 03:コントラスト設定、
※ 05:着信識別、※ 06:発番号ホットライン、※ 11/12:タイムアラーム、※ 13:話中 応答遅延転送、
※ 15:不在転送転送先(外線)、※ 31:予算登録、※ 7:BGM、※ 90+00:短縮番号自動変換の変換日時

・電話機や多機能コンソールのプログラマブルキーに設定したDSS/BLF、ワンタッチダイヤル、ボックスボタン、内線名称、ボイスメモ機能ボタンの登録内容

・多機能コンソールの25~32ボタン(奥側の8個のボタン)の登録内容

下記の手順で操作を行った場合は、上記データを元のままとすることが可能です。

主装置データアップロードを行う。

(パソコンリモートサービスの場合は「リモート主装置データアップロード」を行う。)

本アプリケーションを終了しないで、データ設定を変更する。

ファイル読み込みは行わないでください。ファイルを読み込むとパソコン側でデータ設定可能なデータ以外は初期状態となります。

主装置データダウンロードを行う。

(パソコンリモートサービスの場合は「リモート主装置データダウンロード」を行う。)

1-7 旧iZシリーズ主装置のデータを利用するとき

旧iZシリーズ主装置のデータ設定や短縮データを利用するときは、下記手順で行います。

旧iZシリーズの主装置データアップロードを行う。

旧iZシリーズ用の『パソコンデータ設定用プログラム(iZ/「i」)』を使用します。

アップロードしたデータ設定、短縮データのファイル保存を行う。

旧iZシリーズ用の『パソコンデータ設定用プログラム(iZ/「i」)』を使用します。

保存したファイルを使用して、主装置データダウンロードを行う。

iZシリーズ用の『パソコンデータ設定用プログラム(iZ/「i」)』を使用します。

ご注意

旧iZシリーズと同じデータ設定コマンドのみ利用することができます。設定が変更されているデータ設定コマンドや新規追加されたデータ設定コマンドは設定が必要です。変更点については、「工事 保守マニュアル」の「付録」を参照してください。

パソコンからデータ設定をダウンロードしてからその他の設定(コマンド等)を行ってください。手順を逆にした場合、「1-6 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの変更するときの注意事項」の再設定が必要なデータが初期状態になります。

第2部 《パソコンデータ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。

[1] 事前に設定ファイルを作成する場合

プログラム起動 P 2-2参照
「ファイル作成」を選択 P 2-2参照
「ユーザー情報設定」を実行 P 2-4参照
PCでの設定、ファイル保存
・データ設定 P 2-5参照
・システム短縮設定 P 2-8参照
・電話機毎短縮設定 P 2-12参照

[2] 新規工事の場合 (事前作成ファイルなし)

主装置とPCを接続 P 2-2参照
プログラム起動 P 2-2参照
「主装置設定」を選択 P 2-2参照
「ユーザー情報設定」を実行 P 2-4参照
PCでの設定、ファイル保存
・データ設定 P 2-5参照
・システム短縮設定 P 2-8参照
・電話機毎短縮設定 P 2-12参照
「主装置データダウンロード」の実行
P 2-19参照

[3] 新規工事の場合 (事前作成ファイルあり)

主装置とPCを接続 P 2-2参照
プログラム起動 P 2-2参照
「主装置設定」を選択 P 2-2参照
ファイル読み込み
・データ設定 P 2-5参照
・システム短縮設定 P 2-8参照
・電話機毎短縮設定 P 2-12参照
「主装置データダウンロード」の実行
P 2-19参照

事前作成の内容で変更が必要な場合は、
その後で「ユーザー情報設定」の変更、PCでの
設定変更、ファイル保存を行ってください。

[4] 設定変更の場合

主装置とPCを接続 P 2-2参照
プログラム起動 P 2-2参照
「主装置設定」を選択 P 2-2参照
「主装置データアップロード」の実行
P 2-3参照
必ず実行してください。
ユーザー情報設定 P 2-4参照
PCでの変更、ファイル保存
・データ設定 P 2-5参照
・システム短縮設定 P 2-8参照
・電話機毎短縮設定 P 2-12参照
「主装置データダウンロード」の実行
P 2-19参照

2.プログラムの起動～主装置データアップロード

事前確認 (工事 保守マニュアルを参照してください。)

(1)主装置とパソコンは接続されているか？(両端Dサブ9ピン、インターリンク接続用ケーブルを使用)

(2)主装置側のデータ設定コマンドはデータ設定用になっているか？(*9240、*9241)

使用するPIUのみを「データ設定用」にしてください。(*9240)

パソコンデータ設定用プログラム(㉔2/L)の場合は、基本のPIUのみ使用可能です。

1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

各ボタンの説明

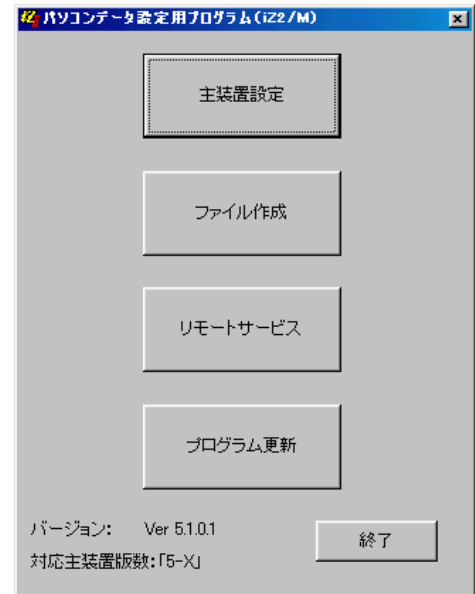
主装置設定 ...主装置を接続して、データ設定や短縮データのアップロードや、変更、ダウンロードを行う。

主装置設定 を選択したとき、パスワード入力後は『メイン画面』に戻るまで、電話機からの電子電話帳登録ができなくなります。

ファイル作成 ...主装置を接続せず、事前にデータ設定や短縮データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。

リモートサービス ...公衆回線経由で、データ設定や短縮データのリモートサービスを行う。(詳細は、第3部を参照)

プログラム更新 ...主装置のプログラムをバージョンアップするときに使用します。別途、バージョンアップソフト(㉔2/「」)の購入が必要です。操作方法の詳細は、バージョンアップソフト(㉔2/「」)に添付の説明書を参照してください。



以降の説明は、『主装置設定』を選択した場合を示します。『ファイル作成』を選択した場合は、操作2、3は省略され、『工事者用メニュー画面』となります。また、操作4以降(主装置データアップロード)は操作できません。

2 『メイン画面』で『主装置設定』をクリックすると、『COMポート選択画面』となる。

パソコン側のCOMポートを選択して『OK』をクリックする。

COMポートは『COM1』～『COM8』まで選択できます。

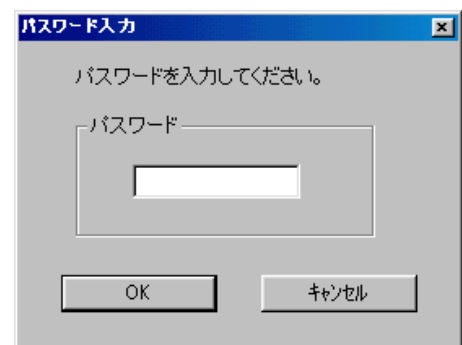
COMポートがオープンできない場合は『COMポートオープンエラー画面』が表示されます。

『OK』をクリックすると『COMポート選択画面』に戻りますので、接続等を確認して操作をやり直してください。



3 『パスワード入力画面』となるので、主装置側のコマンド*000に設定されているパスワード4桁を入力し、『OK』をクリックする。

パスワードは半角数字を使用します。



4

『工事者用メニュー画面』が表示される。
主装置データアップロード をクリックする。

新規工事以外の場合は、必ず**主装置データアップロード**を行ってください。

各ボタンの説明

ユーザー情報設定 ... ユーザーの会社名や電話番号等の情報を登録します。(ファイルに登録情報を付加します。)

システムデータシート印刷 ... パソコン上にあるデータ設定、システム短縮、電話機毎短縮の各データをプリントアウトします。

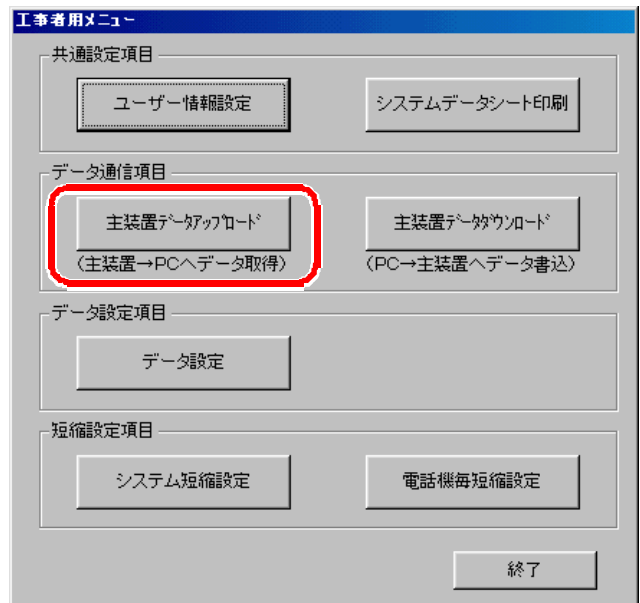
主装置データアップロード ... 主装置側のデータ設定、短縮データをパソコン側にアップロードします。

主装置データダウンロード ... パソコン側のデータ設定、短縮データを主装置側にダウンロードします。

データ設定 ... パソコン上でデータ設定の変更、データ設定ファイルの保存、データ設定ファイルの読み込みを行います。

システム短縮設定 ... パソコン上でシステム短縮の設定 / 変更、システム短縮ファイルの保存、システム短縮ファイルの読み込みを行います。

電話機毎短縮設定 ... パソコン上で電話機毎短縮の設定 / 変更、電話機毎短縮ファイルの保存、電話機毎短縮ファイルの読み込みを行います。



5

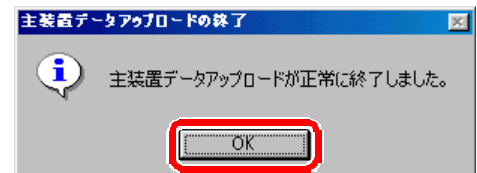
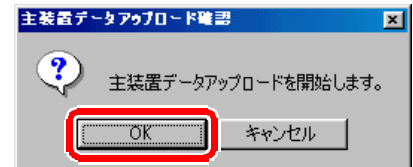
『主装置データアップロード確認画面』となるので、アップロードを開始してよい場合は **OK** をクリックする。

中断できないので注意してください。

キャンセル をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。アップロードを開始すると『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータにアップロードの進行状況が表示されます。

アップロードが完了すると『主装置データアップロードの終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



ご注意

アップロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

アップロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、アップロードをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P2-2参照)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、『画面のプロパティ』の「設定」タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

上記の対策を行っても、「受信タイムアウトエラー発生」、「CE_OVERRUNエラー発生」が多発するパソコンは、下記の設定を行ってください。

Windows® 98SE、Windows® Me の場合

【マイコンピュータ】 【コントロールパネル】 【システム】 【デバイス マネージャ】 使用する通信ポートを選択
 【プロパティ】 【ポートの設定】 【詳細設定】 受信バッファを「低」の位置に設定

Windows® 2000、Windows® XP の場合

【マイコンピュータ】 【コントロールパネル】 【パフォーマンスとメンテナンス】(Windows® XPの「カテゴリ表示」時のみ)
 【システム】 【ハードウェア】 【デバイス マネージャ】 使用する通信ポートを選択 【プロパティ】
 【ポートの設定】 【詳細設定】 受信バッファを「低」の位置に設定

3.ユーザー情報設定

本設定を行っておくと、データ設定、システム短縮、電話機毎短縮のファイルに、お客様の会社名や電話番号等の情報も保存することができます。

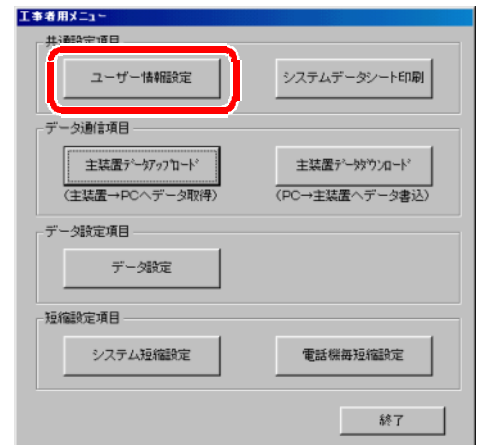
以前に保存したファイルを読み込むと、『ユーザー情報設定画面』で設定した情報が表示されます。

パソコンリモートサービス(第3部参照)も行う主装置の場合は、『ユーザー電話番号』欄に、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線に対応する電話番号またはダイヤルイン番号(コマンド*034で設定)を必ず設定してください。(『ユーザー情報設定』で登録した電話番号に自動的に発信します。)

ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド*034に対応した電話番号を入力する必要はありません。

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で、『ユーザー情報設定』をクリックする。



2 必要事項を記入し、『登録』をクリックする。

各欄は下記の範囲内で入力してください。
お客様の名前や電話番号等の情報を入力しておきます。
(データ設定内容には影響しません。)

ユーザー名：全角12文字(半角24文字)まで
お客様の会社名等を入力してください。

担当者名：全角12文字(半角24文字)まで
ユーザーが会社等で担当の方がいる場合は、担当の方の名前等を入力してください。

電話番号：半角数字
パソコンリモートサービスも行う場合は、PCリモート用の電話番号を入力してください。

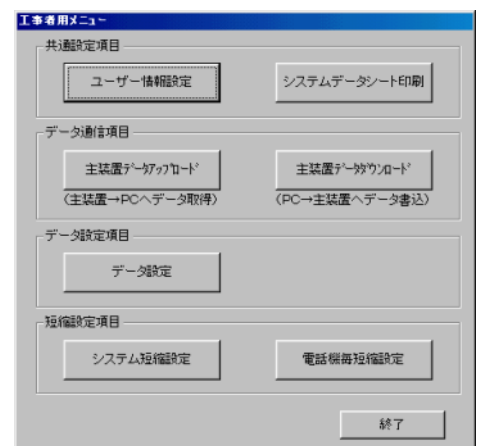
**ISDN外線同士のPCリモートを行う場合は、下記登録でも可能：
電話番号(コマンド*034以外も可)+*(注)+PCリモート用サブアドレス5桁(0+コマンド*000のパスワード)**

設置年月日：全角12文字(半角24文字)まで

設置メモ：全角36文字(半角72文字)まで
改行も全角1文字とみなします。

(注)*はサブアドレスの区切りです。接続するTAの仕様に従ってください。

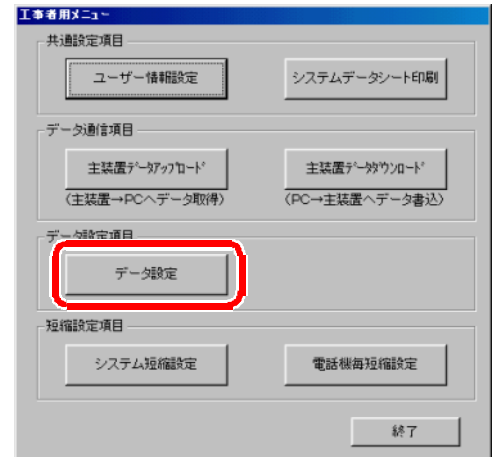
3 『工事者用メニュー画面』に戻る。



4. データ設定

システムデータの設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。
下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2- 2を参照してください。)

- 1 『工事者用メニュー画面』で、**データ設定** をクリックする。



- 2 『メニュー選択画面』となる。

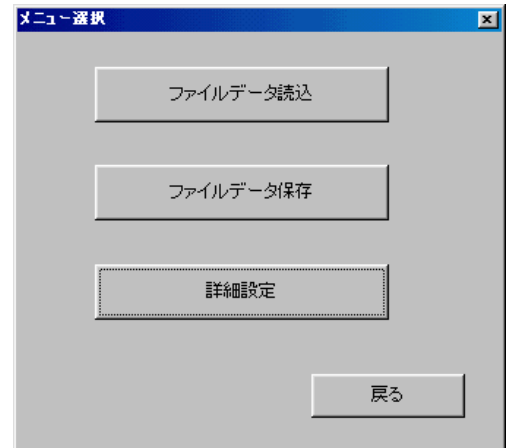
各ボタンの説明

ファイルデータ読込 ... 事前設定したデータ設定ファイルやバックアップしたデータ設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にあるデータ設定内容をファイル保存します。

詳細設定 ... パソコン上でデータ設定を変更します。

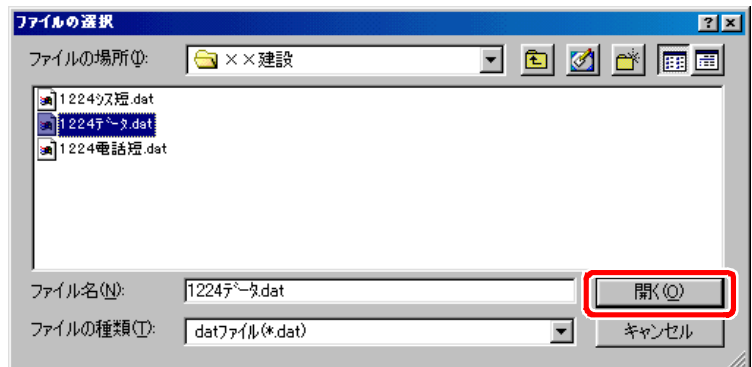
戻る ... 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



- (1) **ファイルデータ読込** をクリックした場合

既に作成済のファイルを修正するときは、**詳細設定**を行う前に**ファイルデータ読込**を行ってください。

読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



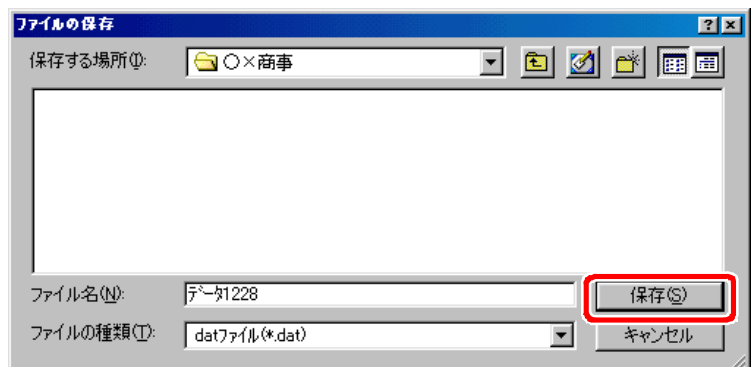
- (2) **ファイルデータ保存** をクリックした場合

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックします。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例 :ユーザ名 + データ設定、データ、等)



3

操作 2 の『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックすると、『データ設定画面』となる。

データ設定コマンド区分毎にタブが分かれています。変更したいコマンドのタブやボタンを選択します。

電話機からの入力と異なり、重複設定できないデータも入力することができますので、**登録** をクリックする前に重複設定がないか必ず確認してください。

4

設定変更を行い、**登録** をクリックする。

外線01、02の着信種別をダイヤルインにした例

DILの設定(*323、*300)を行った後、外線着信の各設定で、『データ設定 設定値エラー発生』が表示された場合は、*642を確認し、DIL対応電話機(*323)がDIL外線のテナントを使用可能か確認してください。(データ設定マニュアルの*323の説明も参照してください。)

外線番号	着信種別 (*300)		着信警報 (*320)	DIL対応電話機 (*323)		DIL呼出不可時の外線切断 (*327)	スラット着信 (*331)		スラット先電話機 (*333)	
	昼	夜		昼	夜		昼	夜	昼	夜
01	2	2	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
02	2	2	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
03	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
04	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
05	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
06	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
07	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
08	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000

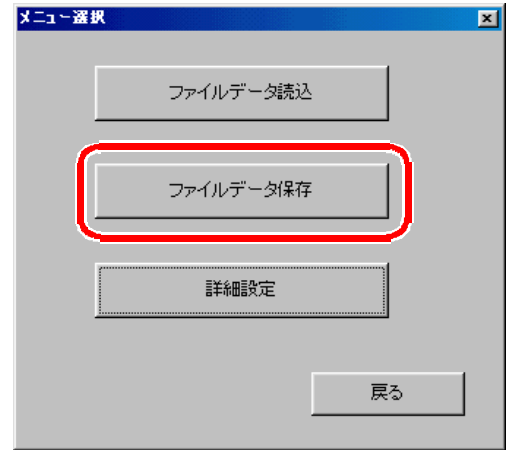
5

全て変更したら、『データ設定画面』で **戻る** をクリックする。

6

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

データ設定内容の保存に必要な容量は下記のとおりです。
 ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / S) :約 770kB
 ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / M) :約 2.7MB
 ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / L) :約 2.3MB
 エンハンスによるコマンド追加等が行われる場合がありますので、上記容量より増える場合があります。



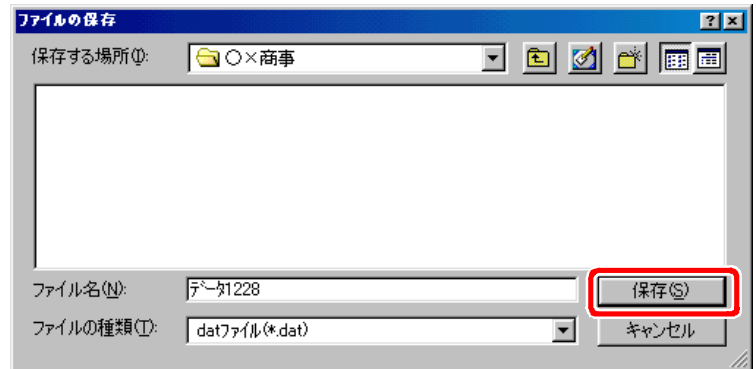
7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

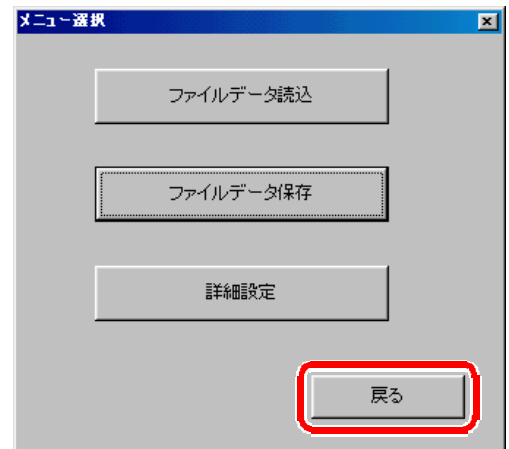
お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例: ユーザー名+データ設定、データ、等)



8

『メニュー選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



9

『工事者用メニュー画面』に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...

P2-19を参照してください。

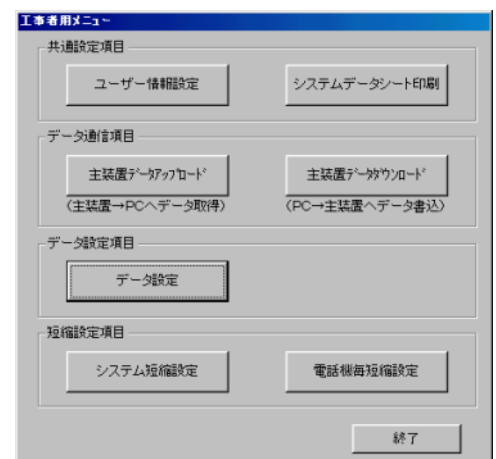
システム短縮や電話機毎短縮を設定する場合は...

ダウンロードする前にシステム短縮や電話機毎短縮の設定/変更を行ってください。

- ・システム短縮設定 P2-8参照
- ・電話機毎短縮設定 P2-12参照

設定したデータを印刷する場合は...

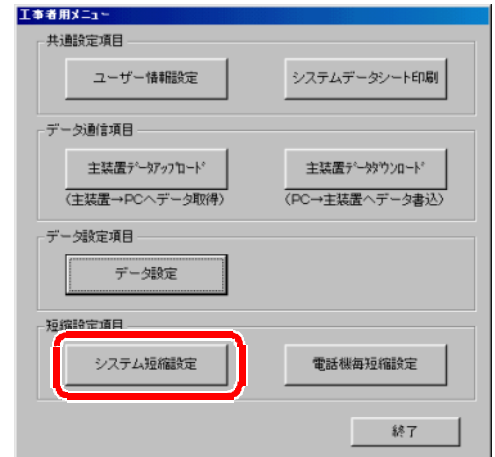
P2-15を参照してください。



5. システム短縮設定

システム短縮データの設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。
下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2- 2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で、**システム短縮設定** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

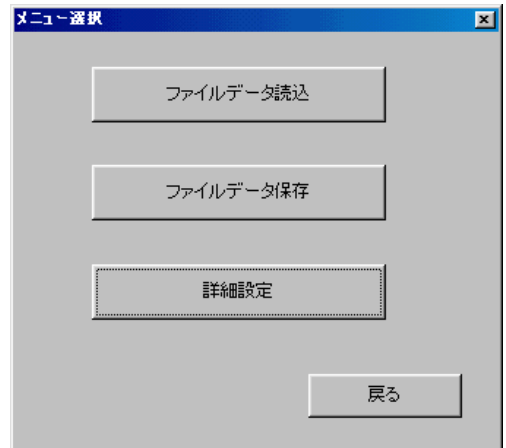
各ボタンの説明

ファイルデータ読込 ... ファイルに保存されているシステム短縮データを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にあるシステム短縮データをファイル保存します。

詳細設定 ... パソコン上でシステム短縮データを設定 / 変更します。

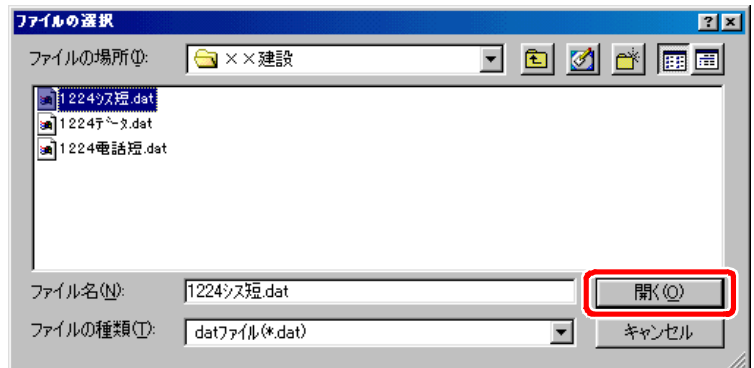
戻る ... 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



(1) **ファイルデータ読込** をクリックした場合

既に作成済のファイルを修正するときは、**詳細設定**」を行う前に**ファイルデータ読込**」を行ってください。読み込みたいファイルを選択して**開く(O)**」をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。

短縮データのファイルを読み込むときは、先に『システム短縮設定』の『メニュー画面』で『詳細設定』をクリックして、『システム短縮メモリ数』を読み込む短縮データに合わせてください。 P2- 9参照
メモリ数より読み込む短縮データが多い場合は、メモリ数を越えた短縮データは読み込めません。

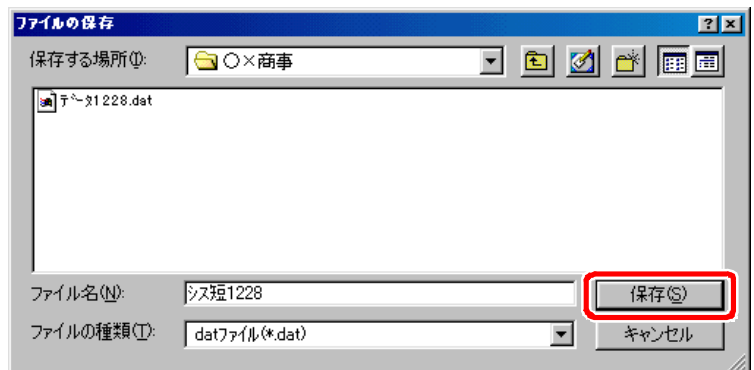


(2) **ファイルデータ保存** をクリックした場合

ファイル名を入力して**保存(S)**」をクリックします。
現在パソコン上にあるシステム短縮データがファイル保存されます。

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例 :ユーザー名 + システム短縮、システム短、等)



CSVファイルの読込やCSVファイルでの保存も可能です。『ファイルの種類(T)』で『csvファイル(*.csv)』を選択します。また、P2- 11も必ず参照してください。

3

操作 2 の『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックすると、**詳細システム短縮設定画面** となる。

各ボタンの説明

メモリ数変更 ... システム短縮のメモリ数を変更します。

編集 ... 短縮データの設定/変更を行います。

戻る ... 『メニュー選択画面』に戻ります。

各フィールドの説明

- ・システム短縮登録残数... 空きのシステム短縮数を表示します。
- ・システム短縮メモリ数... 現在のシステム短縮メモリ数を表示します。
- ・短縮番号... 空き短縮番号の最若番を表示します。短縮番号を入力することにより、入力した短縮番号からの設定もできます。

システム短縮ダイヤルのメモリ数変更方法

『詳細システム短縮設定画面』の **メモリ数変更** をクリックすると、『システム短縮メモリ数変更画面』が表示されます。

変更したいメモリ数を選択し、**変更** をクリックします。メモリ数が増え、『詳細システム短縮設定画面』に戻ります。

変更が不要な場合は、**キャンセル** をクリックすると、メモリ数を変更せずに『詳細システム短縮設定画面』に戻ります。

「システム短縮メモリ数」(コマンド*120)は本画面で変更します。「データ設定画面」では変更できません。

システム短縮メモリ数」を増やした場合は、電話機毎短縮ダイヤルのみ再登録が必要です。

システム短縮メモリ数」を減らした場合は、全ての短縮ダイヤルの再登録が必要です。

システム短縮メモリ数」を変更した場合は、*9112、*9137の設定が消去されることがあります。

4

『詳細システム短縮設定画面』で **編集** をクリックすると、『システム短縮ダイヤル設定画面』となるので、電話番号や相手名称等を入力する。

入力が完了したら **登録** をクリックする。

番号登録：電話番号を入力します。半角数字24文字まで

漢字名称登録：相手名称を登録します。全角6文字(半角12文字)まで、英文字は大文字のみ

カナ名称登録：電話帳検索で使用するカナ名称を登録します。半角12文字まで、英文字は大文字のみ

グループ登録：短縮のグループ番号1~7を選択します。

[Tab]キーで各入力項目の移動、[Page Up]/[Page Down]キーで20行単位の移動が可能です。また、スクロールマウスも使用可能です。

戻る をクリックすると、入力した全てのデータを取り消して『詳細システム短縮設定画面』に戻ります。

短縮番号	番号登録	漢字名称登録	カナ名称登録	グループ登録
000	0612345678	大阪支社	オオサカシヤ	1
001	0521234567	名古屋支店	ナゴヤシヤ	1
002	0901111111	録木携帯	スズキケイタイ	2
003	0902222222	斉藤携帯	サイトウケイタイ	2
004	0903333333	佐藤携帯	サトウケイタイ	2
005	0451234567	青木商事	アオキョウジ	3
006	0451235678	佐々木工業	ササキコギョウ	3
007	0904444444	中島携帯	ナカシマケイタイ	2
008	04512346789	加藤商店	カトウショテン	3
009				1
010				1
011				1
012				1
013				1
014				1
015				1
016				1
017				1
018				1
019				7

5

『詳細システム短縮設定画面』で、**戻る** をクリックする。

6

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

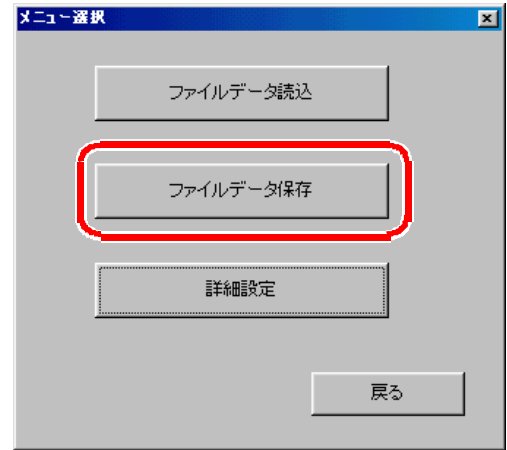
システム短縮データの保存に必要な容量は下記のとおりです。

・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / S) :約 40kB

・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / M) :約 60kB

・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / L) :約 60kB

「システム短縮のメモリ数」が最大 (600件または1000件)の場合に上記容量となります。



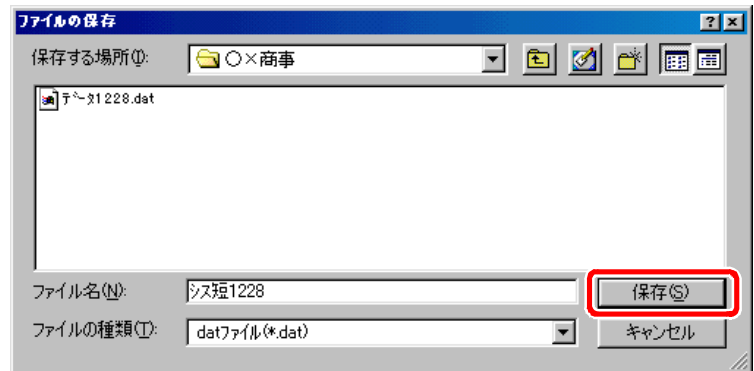
7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるシステム短縮データ内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

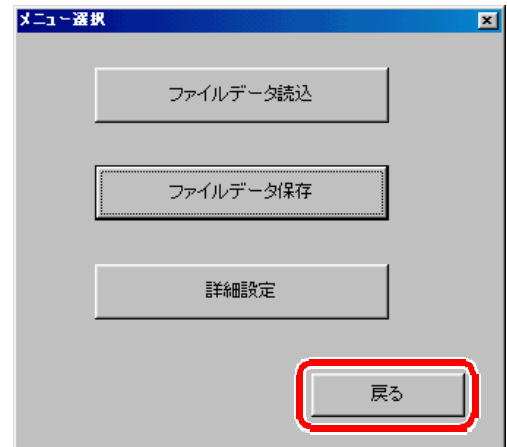
お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+システム短縮、シス短、等)



8

『メニュー選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



9

『工事者用メニュー画面』に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...

P2-19を参照してください。

データ設定や電話機毎短縮を設定する場合は...

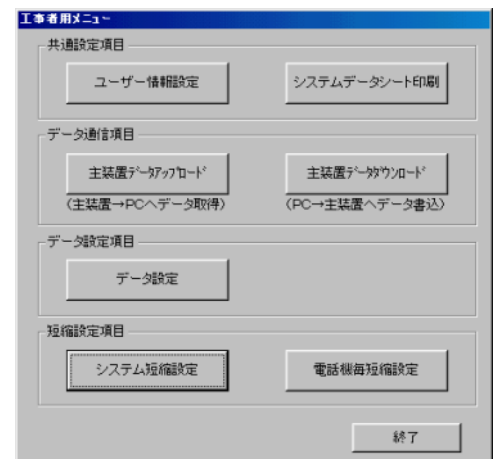
ダウンロードする前にデータ設定や電話機毎短縮の設定/変更を行ってください。

・データ設定 P2-5参照

・電話機毎短縮設定 P2-12参照

設定したデータを印刷する場合は...

P2-15を参照してください。



CSVファイルを利用するには...

(1)ファイルの作成方法

EXCEL等で作成した電話番号一覧を利用することができます。(システム短縮のみ可能)

EXCEL等の使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成 / 編集してください。

下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成 / 編集する。
(全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成 / 編集してください。)

必ず000から入力

	A	B	C	D	E	F
1	短縮番号	電話番号	カナ名称	漢字名称	グループ番号	
2	000	0312345678	トキウホシヤ	東京本社	1	
3	001	0612345678	オサカシヤ	大坂支社	1	
4	002	0521234567	ナゴヤテン	名古屋支店	1	
5	003	09011111111	ススキタイ	鈴木携帯	2	
6	004	09022222222	サイトウタイ	斎藤携帯	2	
7	005	09033333333	サトウタイ	佐藤携帯	2	
8	006	0451234567	アオキョウジ	青木商事	3	
9	007	0451235678	ササキコウキョウ	佐々木工業	3	
10	008	09044444444	ナカシマタイ	中島携帯	2	
11	009	04512346789	カウショウテン	加藤商店	3	

1行目：短縮番号、電話番号、カナ名称、漢字名称、グループ番号の文字を上記の順番通りに入力します。

短縮番号：000からの連番を半角数字で入力します。

データを入力した行は、必ず入力してください。全ての短縮番号を入力する必要はありません。(先頭の000は必須)

80メモリの場合は、2桁入力(00~79)、3桁入力(000~079)の何れも可能です。

電話番号：電話番号を入力します。半角数字24文字まで。

カナ名称：電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角12文字まで、英文字は大文字のみ。

漢字名称：相手名称をスペースを入れずに入力します。全角6文字(半角12文字)まで、英文字は大文字のみ。

グループ番号：短縮のグループ番号1~7を半角数字で入力します。

入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データ等)。

指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

作成 / 編集が済んだら、CSV形式で保存する。

CSV形式の他、EXCEL等の通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。

CSV形式のファイルをEXCELで読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

(2)本プログラムで保存したCSVファイルの読み込み方法

EXCELでCSVファイルを直接読み込むと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、下記操作を行ってください。(一旦、txtファイルに変更します。)

エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。

画面の指示に従って、操作する。

元のデータの形式：「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。

区切り文字：「カンマ」を選択します。

列のデータ形式：全てのデータ項目を「文字列」にします。

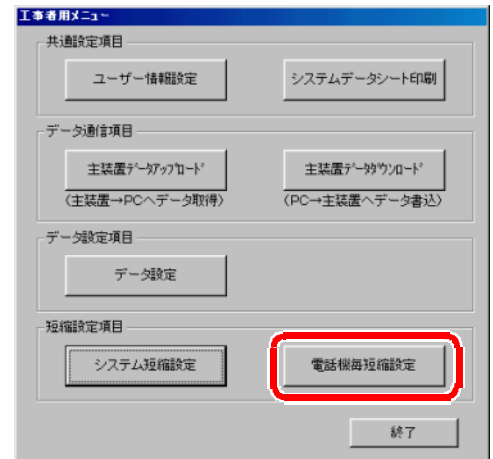
完了(F) をクリックし、ファイルが開いたら上記(1)に従って編集作業を行う。

6. 電話機毎短縮設定

電話機毎短縮データの設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2- 2を参照してください。)

- 1 『工事者用メニュー画面』で、**電話機毎短縮設定** をクリックする。



- 2 『メニュー選択画面』となる。

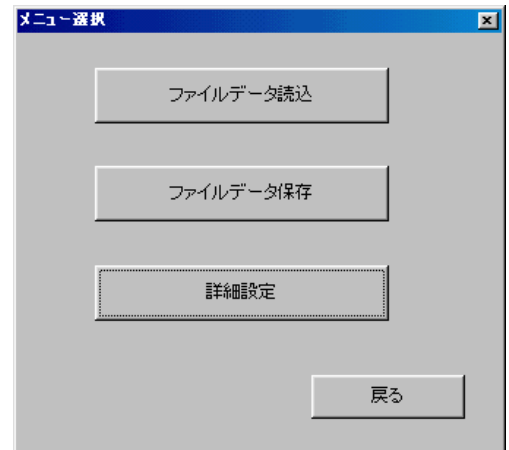
各ボタンの説明

ファイルデータ読込 ... ファイルに保存されている電話機毎短縮データを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にある電話機毎短縮データをファイル保存します。

詳細設定 ... パソコン上で電話機毎短縮データを設定/変更します。

戻る ... 『工事者用メニュー画面』に戻ります。

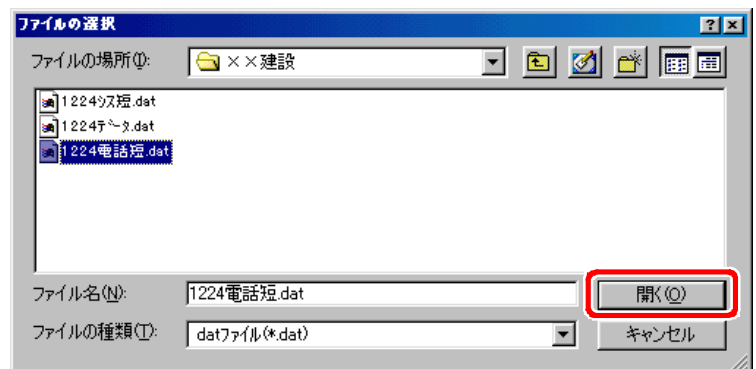


- (1) **ファイルデータ読込** をクリックした場合

既に作成済のファイルを修正するときは、**詳細設定**を行う前に**ファイルデータ読込**を行ってください。

読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。

短縮データのファイルを読み込むときは、先に**システム短縮設定**の**メニュー画面**で**詳細設定**をクリックして、**システム短縮メモリ数**を読み込む短縮データに合わせてください。 P2- 9参照



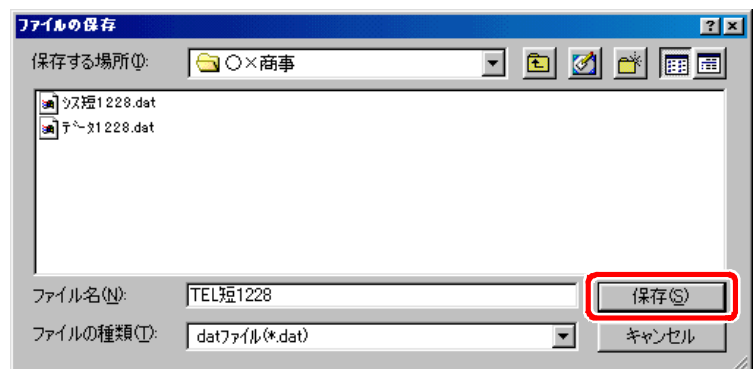
- (2) **ファイルデータ保存** をクリックした場合

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックします。

現在PC上にある電話機毎短縮データがファイル保存されます。

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を付けてファイル名を付けてください。(例 :ユーザー名+電話機短縮、TEL短、等)



3

操作 2 の『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックすると、**詳細電話機毎短縮設定画面** となる。

各ボタンの説明

編集 ... 短縮データの設定/変更を行います。

戻る ... 『メニュー選択画面』に戻ります。

各フィールドの説明

- ・電話機毎短縮メモリ数... 現在の電話機毎短縮メモリ数を表示します。
- ・電話機毎登録残数... 空きの電話機毎短縮数を表示します。
- ・電話機選択... 短縮を登録する電話機を選択します。
- ・短縮番号... 空き短縮番号の最若番を表示します。短縮番号を入力することにより、入力した短縮番号から短縮データの入力を行うこともできます。

4

『詳細電話機毎短縮設定画面』で、登録する電話機を選択してから **編集** をクリックすると、『電話機毎短縮ダイヤル設定画面』となるので、電話番号や相手名称等を入力する。

入力が完了したら **登録** をクリックする。

番号登録：電話番号を入力します。半角数字24文字まで

漢字名称登録：相手名称を登録します。全角6文字(半角12文字)まで、英文字は大文字のみ

カナ名称登録：電話帳検索で使用するカナ名称を登録します。半角12文字まで、英文字は大文字のみ

[Tab]キーで各入力項目の移動が可能です。

戻る をクリックすると、入力した全てのデータを取り消して『詳細電話機毎短縮設定画面』に戻ります。

收容位置	短縮番号	番号登録	漢字名称登録	カナ名称登録
80		09011112222	田中携帯	チナカイ
81		09011113333	佐々木携帯	ササキカイ
82		03999999999	自宅	シマ
83		0312349876	〇〇電気	マルマルデンキ
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				

5

『詳細電話機毎短縮設定画面』となる。

他の電話機の短縮を登録するときは、電話機を選択してから **編集** をクリックする。(操作 4に戻る)

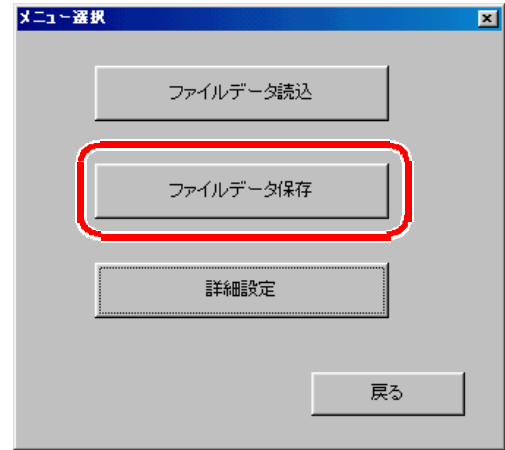
他に登録する電話機がないときは、**戻る** をクリックする。

6

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

電話機毎短縮データの保存に必要な容量は下記のとおりです。

- ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / S) :約 15kB
 - ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / M) :約 25kB
 - ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / L) :約 110kB
- 「システム短縮のメモリ数」が 80件の場合に上記容量となります。



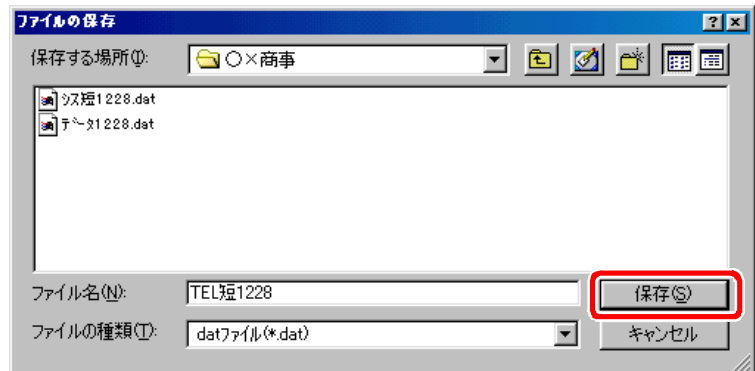
7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にある電話機毎短縮データ内容がファイル保存されます。(3章で登録した「担当者設定」の内容も一緒に保存されます。)

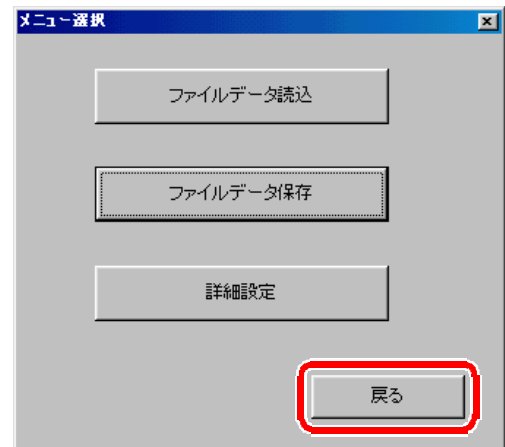
お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を付けてファイル名を付けてください。(例 :ユーザー名 + 電話機短縮、TEL短、等)



8

『メニュー選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



9

『工事者用メニュー画面』に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...

P2- 19を参照してください。

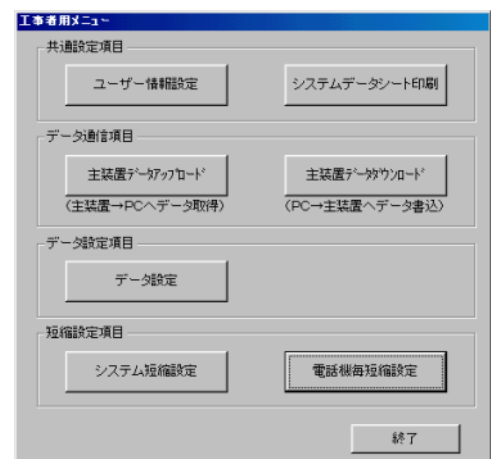
データ設定やシステム短縮を設定する場合は...

ダウンロードする前にデータ設定やシステム短縮の設定/変更を行ってください。

- ・データ設定 P2- 5参照
- ・システム短縮設定 P2- 8参照

設定したデータを印刷する場合は...

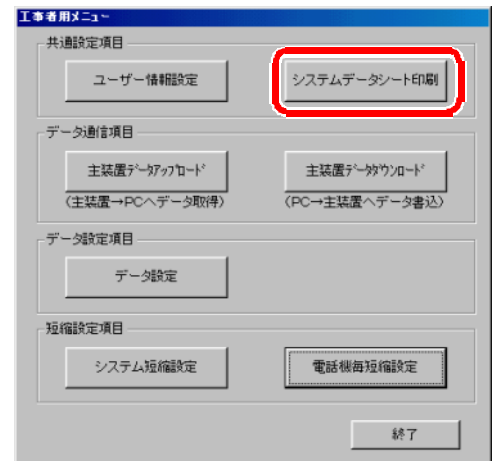
P2- 15を参照してください。



7. システムデータシート印刷

パソコンに接続したプリンタでデータ設定や短縮の設定内容を印刷できます。
下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2- 2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で、**システムデータシート印刷** をクリックする。



2 『システムデータシート印刷選択画面』となるので、印刷したい内容のボタンをクリックする。

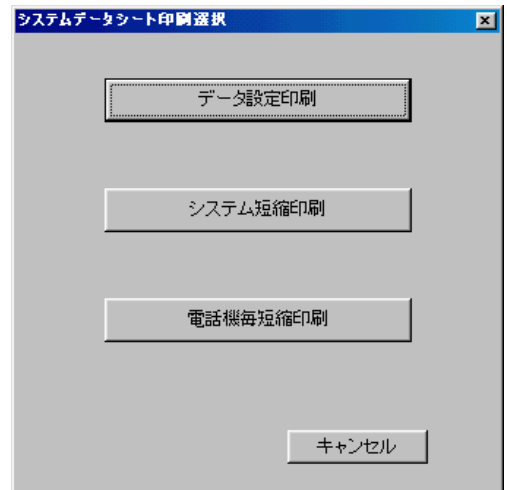
各ボタンの説明

データ設定印刷 ... パソコン上にあるデータ設定内容を印刷します。

システム短縮印刷 ... パソコン上にあるシステム短縮データを印刷します。

電話機毎短縮印刷 ... パソコン上にある電話機毎短縮データを印刷します。

キャンセル ... 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



3 印刷種別選択画面』となります。

各ボタンの説明

プレビュー表示 ... 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。

(詳細は P2- 16 参照)

プリンタの指定はできません。『通常使うプリンタ』に設定されているプリンタで印刷します。

印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

2ページ分が横並びで印刷されます。

ダイアログ表示 ... プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(詳細は P2- 17 参照)

ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

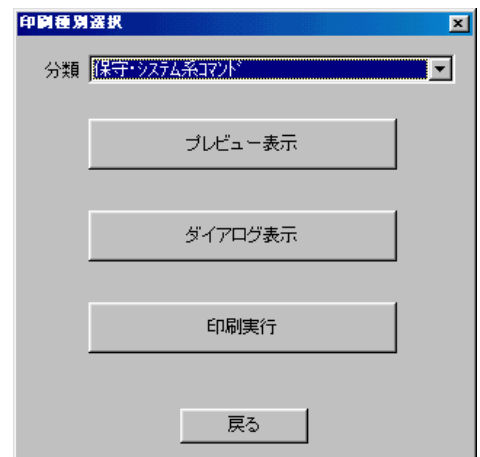
印刷実行 ... 印刷を実行します。

プリンタの指定はできません。『通常使うプリンタ』に設定されているプリンタで印刷します。

ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

2ページ分が横並びで印刷されます。

戻る ... 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



「分類」欄は、「パソコンデータ設定用プログラム (Z2/L) で「データ設定印刷」を選択したときのみ表示されます。プルダウンメニューから印刷したいコマンド分類を選択してから各ボタンをクリックしてください。

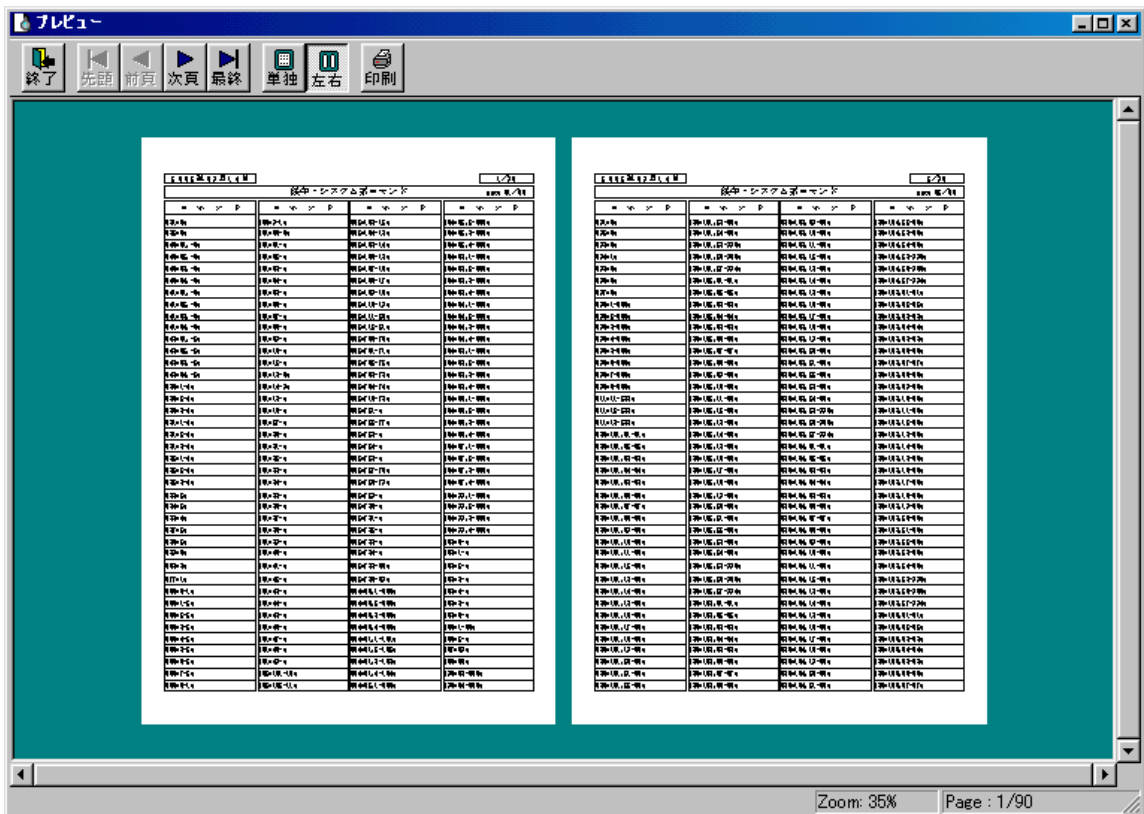
以降のページでは、**プレビュー表示** を選択した場合と **ダイアログ表示** を選択した場合とに分けて説明します。(印刷実行 を選択した場合は、説明を省略します。)

プレビュー表示 を選択した場合

4

印刷種別選択画面』で **プレビュー表示** をクリックすると、『プレビュー画面』となる。

プレビュー画面上で左クリックすると拡大表示、右クリックすると縮小表示することができます。
パソコンの能力によっても異なりますが、各ボタンの操作ができるまで、しばらく時間がかかります。



各ボタンの説明



... プレビューを終了します。



... 1ページ毎に表示します。



... 左右に2ページ表示を行います。



... 印刷を行います。



... 先頭のページを表示します。



... 前ページを表示します。



... 次ページを表示します。



... 最終のページを表示します。

5

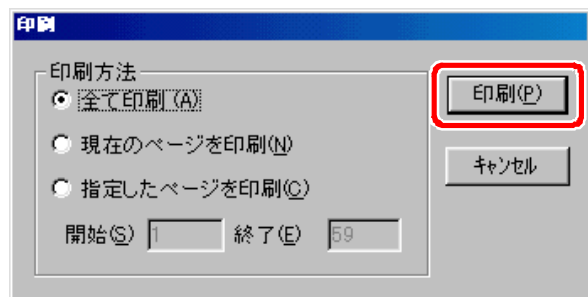
『プレビュー画面』の **印刷** をクリックすると、『印刷画面』となるので、印刷方法を選択し、**印刷(P)** をクリックする。

印刷を行わないときは、**キャンセル** をクリックしてください。

現在のページを印刷 (N)」を選択した場合、プレビュー画面で2ページ表示をしていても、左側に表示されているページのみ印刷されます。

印刷中画面』が表示されます。

印刷が終了したら、『プレビュー画面』の **終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。



ダイアログ表示 を選択した場合

4

印刷種別選択画面』で **ダイアログ表示** をクリックすると、『プリンタ選択画面』となる。

プリンタ選択

プリンタ
プリンタ(P): ネットワークプリンタ [プロパティ(S)]

状態: 準備完了 部数(N): 1

種類: XXXXXX XX-XXXX

出力先: ¥Z123456¥XXXXX 出力用紙指定(O)

用紙(A): A4 210 x 297 mm 用紙フィット(J)

給紙(B): 自動選択 任意倍率(K) (L): 100

印刷方向: 縦印刷(C) 横印刷(D)

縮小拡大: ON(E) OFF(F) マルチ印刷(M)

位置合わせ: 左上(G) 中央(H) 中央線(I) 縦方向(N) 横方向(O)

※位置合わせの「中央線」はマルチ印刷時のみ有効です。 [OK] [キャンセル]

注 画面表示はプリンタによって若干異なります。

各フィールドの説明

- ・プリンタ(P)... 印刷に使うプリンタを選択します。(複数のプリンタが使用可能なとき)
- ・部数(N)... 印刷部数を指定します。
- ・出力用紙指定(O)... 出力方法を変更するときに使用します。チェックを入れると **プロパティ(S)** が有効になりますので、プリンタのプロパティが設定可能になります。
プリンタのプロパティでマルチ印刷(2ページ分の割付等)を行う場合も、本画面で印刷方向や縮小拡大(用紙フィット)の設定等が必要になります。どのように印刷されるか、ページ数の少ない「電話機毎短縮印刷」で事前に試してください。
- ・給紙(B)... プリンタで複数の給紙方法が可能なきに選択できます。
- ・マルチ印刷(M)... 「出力用紙指定(O)」にチェックを入れたときに有効です。通常は1枚に1ページ分を印刷しますが、マルチ印刷を指定すると、1枚に2ページ分を印刷します。

<参考>

マルチ印刷で1枚に2ページ分を印刷するときは、下記の設定をしてください。

- ・「出力用紙指定(O)」を**チェック**
- ・マルチ印刷(M): 「横方向(O)」
- 印刷方向: 「横印刷(D)」
- 拡大縮小: 「ON(E)」
- 位置合わせ: 「左上(G)」
- ・「用紙フィット(J)」を指定

プリンタ選択

プリンタ
プリンタ(P): ネットワークプリンタ [プロパティ(S)]

状態: 準備完了 部数(N): 1

種類: XXXXXX XX-XXXX

出力先: ¥Z123456¥XXXXX 出力用紙指定(O)

用紙(A): A4 210 x 297 mm 用紙フィット(J)

給紙(B): 自動選択 任意倍率(K) (L): 100

印刷方向: 縦印刷(C) 横印刷(D)

縮小拡大: ON(E) OFF(F) マルチ印刷(M)

位置合わせ: 左上(G) 中央(H) 中央線(I) 縦方向(N) 横方向(O)

※位置合わせの「中央線」はマルチ印刷時のみ有効です。 [OK] [キャンセル]

5

印刷種別選択画面』で **OK** をクリックすると印刷が開始され、『印刷中画面』が表示される。

途中で印刷を中止するときは **印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了すると印刷種別選択画面』に戻ります。

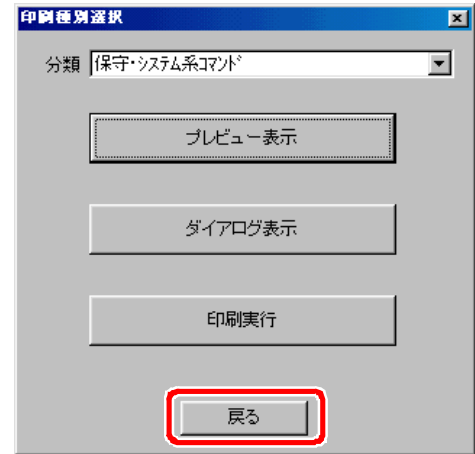
印刷中

印刷中です。

[印刷中止(C)]

6

印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする。



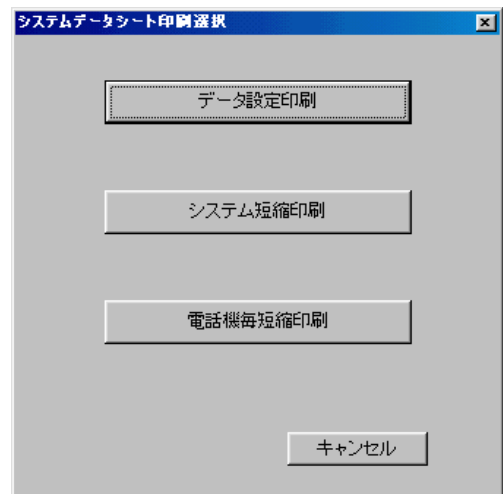
「分類」欄は、「パソコンデータ設定用プログラム (Z2/L) で「データ設定印刷」を選択したときのみ表示されます。

7

『システムデータシート印刷選択画面』となる。

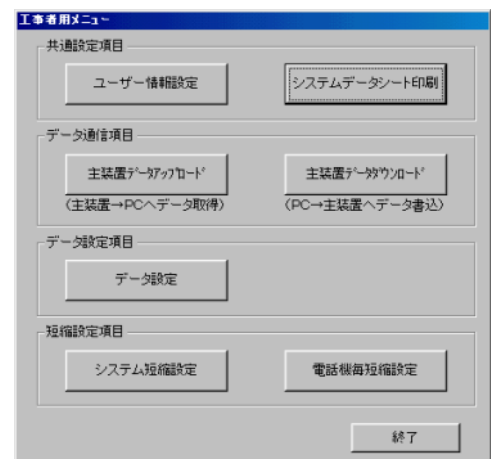
他に印刷したい内容があれば、該当するボタンをクリックし、操作3から繰り返します。

他に印刷したい内容がなければ、**キャンセル** をクリックします。



8

『工事者用メニュー画面』に戻る。



8.主装置データダウンロード~プログラムの終了

パソコン上にあるデータ設定、システム短縮データ、電話機毎短縮データを一括で主装置にダウンロードします。
項目毎にダウンロードすることはできませんので、必要な設定を全て完了させてからダウンロードしてください。
下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2- 2を参照してください。)

1

『工事者用メニュー画面』で、『主装置データダウンロード』をクリックする。

新規工事以外の場合は、必ず『主装置データアップロード』を先に行ってください。 P2- 3参照
『主装置データアップロード』を行っていない場合は、下記の操作を行ってください。

変更/作成を行ったデータ設定、システム短縮設定、電話機毎短縮設定のファイル保存(未実施の場合)

P2- 5、2- 8、2- 12参照

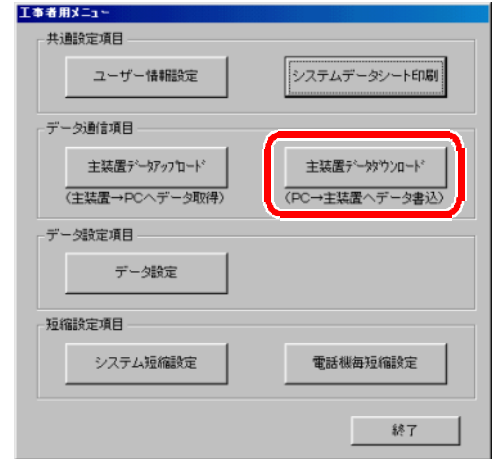
『主装置データアップロード』の実行 P2- 3参照

データ設定、システム短縮設定、電話機毎短縮設定のファイル読み込み(で保存したもの)

P2- 5、2- 8、2- 12参照

アップロードしたデータを一部修正する場合は、『ファイルデータ読み込み』は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正してください。ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。

『主装置データダウンロード』の実行



2

『主装置データダウンロード確認画面』となるので、ダウンロードを開始してよい場合は『OK』をクリックする。

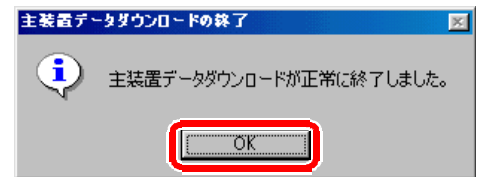
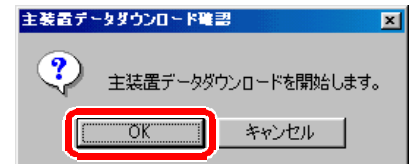
中断できないので注意してください。

『キャンセル』をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。

ダウンロードを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。

ダウンロードが完了すると『主装置データダウンロードの終了画面』が表示されるので、『OK』をクリックする。

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



ご注意

ダウンロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、『デフラグ(ディスクの最適化)』は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となりシステムの初期化が必要です。)

ダウンロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、ダウンロードをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面(『ポートステータスチェックエラー発生』や『受信タイムアウトエラー発生』)の『OK』をクリックし、『メイン画面』(P2- 2参照)まで戻ってからダウンロードをやり直してください。**必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。**

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、『画面のプロパティ』の『設定』タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。上記の対策を行っても、『受信タイムアウトエラー発生』、『CE_OVERRUNエラー発生』が多発するパソコンは、下記の設定を行ってください。

Windows® 98SE、Windows® Me の場合

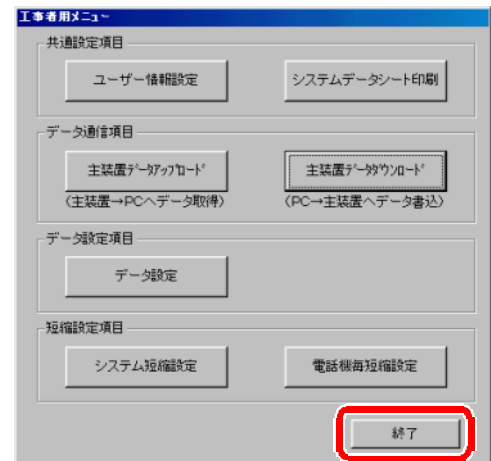
【マイコンピュータ】 【コントロールパネル】 【システム】 【デバイス マネージャ】 使用する通信ポートを選択
【プロパティ】 【ポートの設定】 【詳細設定】 受信バッファを『低』の位置に設定

Windows® 2000、Windows® XP の場合

【マイコンピュータ】 【コントロールパネル】 【パフォーマンスとメンテナンス】(Windows® XPの『カテゴリ表示』時のみ)
【システム】 【ハードウェア】 【デバイス マネージャ】 使用する通信ポートを選択 【プロパティ】
【ポートの設定】 【詳細設定】 受信バッファを『低』の位置に設定

3

『工事者用メニュー画面』に戻ります。
作業が全て終了の場合は、『終了』をクリックする。



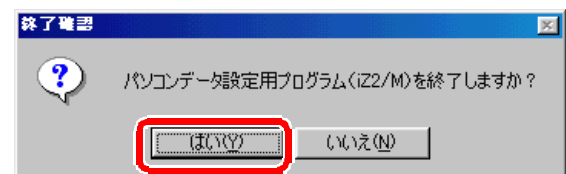
4

『メイン画面』が表示されるので、『終了』をクリックする。



5

終了確認画面』で『はい(Y)』をクリックする。
『いいえ(N)』をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



ご注意

プログラマブルキーの設定 (プログラマブルキーの一括設定、RECU再生ボタンの自動割り付けを含む)、ストリートラインDの設定、バーチャルラインの設定等、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ残りが発生することがありますが、故障ではありません。システムの再立ち上げを行うと正常に戻ります。また、会議通話数の変更を行った場合も、ダウンロード終了後にシステムの再立ち上げが必要です。下記の操作を行ってください。

主装置の電源スイッチをOFFにする。

約 10秒経過後に電源スイッチをONにする。

9. 主装置交換時の処置方法

主装置の故障により主装置交換を行うときは、以下の手順で行ってください。

故障した主装置にパソコンを接続し、本プログラムで主装置のデータをアップロードする。 P2- 2参照
コマンドのみで設定可能なデータ (P1- 3参照)や、DSS / BLF、ワンタッチダイヤル、ボックスボタン、内線名称、ボイスメモ機能ボタンは紙などに記録してください。
アップロードしたデータをそのまま代品の主装置にダウンロードしますので、本プログラムを終了させないでください。

代品の主装置のバッテリーバックアップスイッチをONにし、主装置の電源を入れる。

代品の主装置にパソコンを接続する。 P2- 2参照

本プログラムの『メイン画面』(P2- 2参照)まで戻る。
アップロードしたデータをそのまま代品の主装置にダウンロードしますので、本プログラムを終了させないでください。

代品の主装置に で読み込んだデータをダウンロードする。 P2- 19参照

代品の主装置にカレンダー、時計の設定を行う。 主装置の取扱説明書参照 (註 5、註 6)

ご注意

故障した主装置の電源が立ち上がらない場合は、データのアップロードを行うことができませんので、設置工事が完了したら必ず下記の作業を行っておいてください。

- (1) データ設定のファイル保存
- (2) システム短縮のファイル保存
- (3) 電話機毎短縮のファイル保存
- (4) システムデータシートへの記入 (特に **PC不可** が記入されているコマンド)

下記のデータ (ファイル保存できないデータ) は本プログラムで保存できませんので、紙などに記録しておいてください。

- (1) 『工事・保守マニュアル (2.データ設定マニュアル編)』、『コマンド説明』のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンド (*034、*035を除く)
- (2) コマンドのみで設定可能なデータ (P1- 3参照)や、DSS / BLF、ワンタッチダイヤル、ボックスボタン、内線名称、ボイスメモ機能ボタン、多機能コンソールの 25 ~ 32ボタン (奥側の 8個のボタン)
- (3) 設置後に変更されたデータ

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。

[1] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする (設定済のファイル*1がない場合)

プログラム起動 P3-2参照
 「リモートサービス」を選択 P3-2参照
 「ユーザー情報設定」を実行 P3-3参照
 「リモート主装置データアップロード」、または
 「リモート短縮データアップロード」の実行
 P3-4参照
 ファイル保存*2
 データ設定 P3-8参照
 システム短縮設定 P3-11参照
 電話機毎短縮設定 P3-14参照

[2] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする (設定済のファイル*1がある場合)

プログラム起動 P3-2参照
 「リモートサービス」を選択 P3-2参照
 設定済ファイル読込*1 P3-8参照
 データ設定 P3-8参照
 システム短縮設定 P3-11参照
 電話機毎短縮設定 P3-14参照
 「リモート主装置データアップロード」、または
 「リモート短縮データアップロード」の実行
 P3-4参照
 ファイル保存*2
 データ設定 P3-8参照
 システム短縮設定 P3-11参照
 電話機毎短縮設定 P3-14参照

[3] 主装置にデータ設定をダウンロードする (設定済のファイル*1がない場合)

プログラム起動 P3-2参照
 「リモートサービス」を選択 P3-2参照
 「ユーザー情報設定」の実行 P3-3参照
 「リモート主装置データアップロード」の実行*3
 P3-4参照
 PCでのデータ作成/変更*4、
 ファイル保存 P3-8参照
 「リモート主装置データダウンロード」の実行
 P3-19参照

[4] 主装置にデータ設定をダウンロードする (設定済のファイル*1がある場合)

プログラム起動 P3-2参照
 「リモートサービス」を選択 P3-2参照
 設定済ファイル読込*1 P3-8参照
 「リモート主装置データアップロード」の実行*3
 P3-4参照
 データ設定ファイル読込*5、
 PCでのデータ作成/変更*6
 ファイル保存 P3-8参照
 「リモート主装置データダウンロード」の実行
 P3-19参照

[5] 主装置に短縮データをダウンロードする (設定済のファイル*1がない場合)

プログラム起動 P3-2参照
 「リモートサービス」を選択 P3-2参照
 「ユーザー情報設定」の実行 P3-3参照
 「リモート短縮データアップロード」の実行*3
 P3-4参照
 PCでの短縮データ作成/変更*4、ファイル保存
 システム短縮設定 P3-11参照
 電話機毎短縮設定 P3-14参照
 「リモート短縮データダウンロード」の実行
 P3-19参照

[6] 主装置に短縮データをダウンロードする (設定済のファイル*1がある場合)

プログラム起動 P3-2参照
 「リモートサービス」を選択 P3-2参照
 設定済ファイル読込*1 P3-11参照
 「リモート短縮データアップロード」の実行*3
 P3-4参照
 短縮データファイル読込*5、
 PCでの短縮データ作成/変更*6、ファイル保存
 システム短縮設定 P3-11参照
 電話機毎短縮設定 P3-14参照
 「リモート短縮データダウンロード」の実行
 P3-19参照

*1 発信先の電話番号を抽出するために使用します。対象となる主装置のデータ設定または短縮データのファイルで、PCリモート用の電話番号が登録 (ユーザー情報設定で登録) されているものがが必要です。

*2 必要なものを保存してください。

*3 初期状態の主装置にダウンロードする場合は不要です。 初期状態でない主装置の場合は、必ず実行してください。

*4 主装置からアップロードしたデータを変更します。

*5 主装置にダウンロードするファイルがあるときにのみ、ファイルを読み込みます。

初期状態でない主装置の場合は、ファイルを読み込まずアップロードしたデータを変更してください。

*6 読み込んだファイル、または主装置からアップロードしたデータを変更します。(必要時)

2.プログラムの起動

事前確認

(1)主装置側のデータ設定コマンドは設定されているか？(*034、*035)

設定されていない場合は、パソコンリモートサービスはできません。

(2)パソコンのモデムはコマンド*035で設定した回線に接続されているか？(ISDN回線の場合は、TA等のアナログポートにパソコンのモデムを接続する。)

ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド*034、*035は不要です。また、発信側・着信側は任意の外線を使用できます。

1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

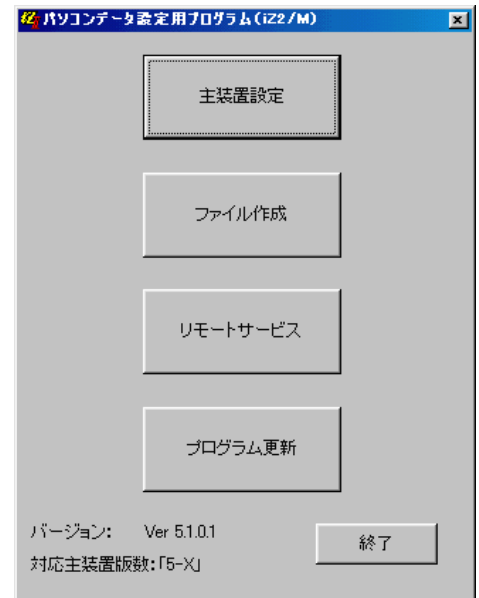
各ボタンの説明

主装置設定 ...主装置を接続して、データ設定や短縮データのアップロードや、変更、ダウンロードを行う。(詳細は、第2部を参照)

ファイル作成 ...主装置を接続せず、事前にデータ設定や短縮データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。

リモートサービス ...公衆回線経由で、データ設定や短縮データのリモートサービスを行う。

プログラム更新 ...主装置のプログラムをバージョンアップするときに使用します。別途、バージョンアップソフト(㊦2/「」)の購入が必要です。操作の詳細は、バージョンアップソフト(㊦2/「」)に添付の説明書を参照してください。



2 『メイン画面』で **リモートサービス** をクリックすると、『PCリモートメニュー画面』となる。

各ボタンの説明 (PCリモート専用)

リモート主装置データアップロード ... リモートサービスで主装置側のデータ設定内容をパソコン側にアップロードします。

リモート主装置データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容を主装置側にダウンロードします。

リモート短縮データアップロード ... リモートサービスで主装置側のシステム短縮および電話機毎短縮データをパソコン側にアップロードします。

リモート短縮データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側のシステム短縮および電話機毎短縮データを主装置側にダウンロードします。

各ボタンの説明 (PCデータ設定と同一機能のもの)

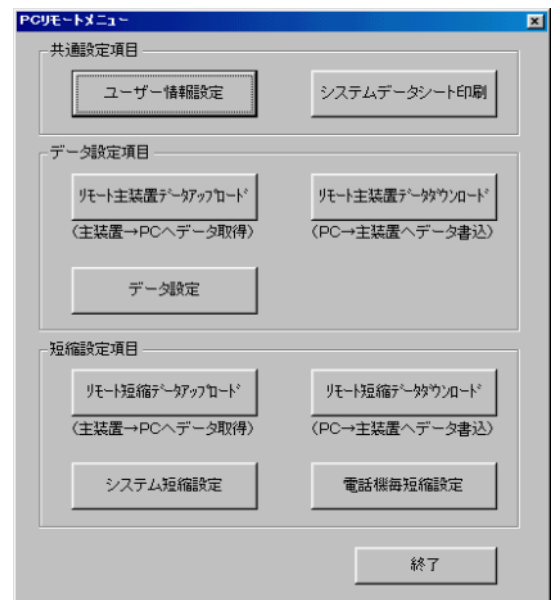
ユーザー情報設定 ... ユーザーの会社名や電話番号等の情報を登録します。(ファイルに登録情報を付加します。)

システムデータシート印刷 ... パソコン上にあるデータ設定、システム短縮、電話機毎短縮の各データをプリントアウトします。

データ設定 ... パソコン上でデータ設定の変更、データ設定ファイルの保存、データ設定ファイルの読み込みを行います。

システム短縮設定 ... パソコン上でシステム短縮の登録/変更、システム短縮ファイルの保存、システム短縮ファイルの読み込みを行います。

電話機毎短縮設定 ... パソコン上で電話機毎短縮の登録/変更、電話機毎短縮ファイルの保存、電話機毎短縮ファイルの読み込みを行います。



3.ユーザー情報設定

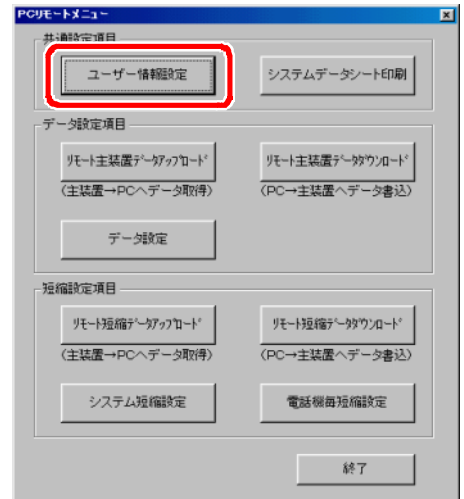
パソコンリモートサービスを行う場合、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に自動的に発信します。登録する電話番号は、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線に対応する電話番号またはダイヤルイン番号(コマンド*034で設定)を必ず設定してください。

ユーザー情報(PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、システム短縮、電話機毎短縮の何れかのファイルを読み込んだときは、本設定は不要です。

ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド*034に対応した電話番号を入力する必要はありません。

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で、「ユーザー情報設定」をクリックする。



2 必要事項を記入し、「登録」をクリックする。

各欄は下記の範囲内で入力してください。
お客様の名前や電話番号等の情報を入力しておきます。
(データ設定内容には影響しません。)

ユーザー名：全角12文字(半角24文字)まで
お客様の会社名等を入力してください。

担当者名：全角12文字(半角24文字)まで
ユーザーが会社等で担当の方がいる場合は、担当の方の名前等を入力してください。

電話番号：半角数字

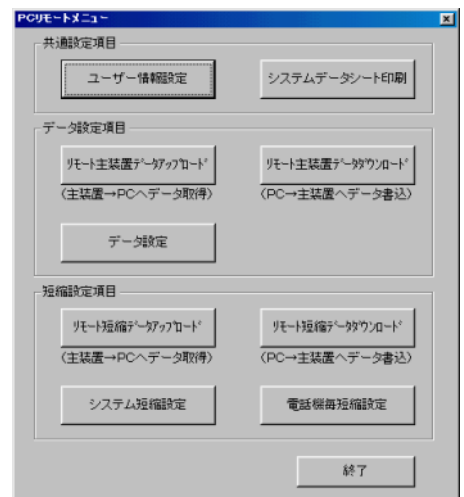
PCリモート用の電話番号を入力してください。
ISDN外線同士のPCリモートを行う場合は、下記登録でも可能：
電話番号(コマンド*034以外も可) + *(注) + PCリモート用サブアドレス5桁(0+コマンド*000のパスワード)

設置年月日：全角12文字(半角24文字)まで

設置メモ：全角36文字(半角72文字)まで
改行も全角1文字とみなします。

(注)*はサブアドレスの区切りです。接続するTAの仕様に従ってください。

3 『PCリモートメニュー画面』に戻る。



4. リモート主装置データアップロード/リモート短縮データアップロード

主装置のデータ設定、短縮データをリモートサービスによってパソコンにアップロードします。

データ設定、短縮データ(システム短縮および電話機毎短縮)は個別にアップロードします。

アップロードを行う前に下記の何れかを行う必要があります。

・「ユーザー情報設定」でユーザー名や電話番号を登録する。(P3- 3参照)

・ユーザー情報(PCIリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、システム短縮、電話機毎短縮の何れかのファイルを読み込む。(P3- 8、P3- 11、P3- 14参照)

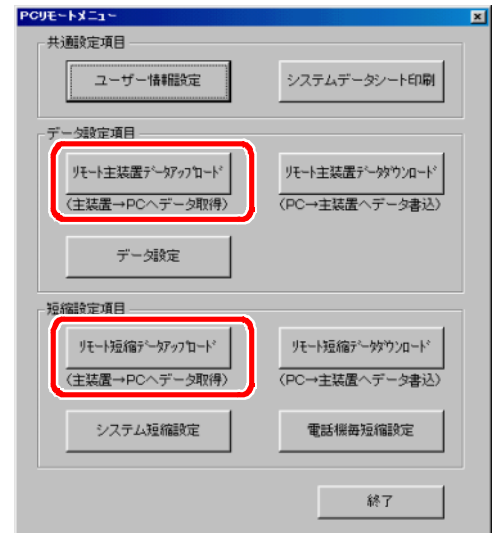
下記手順で行います。(『PCIリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3- 2を参照してください。)

1 『PCIリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データアップロード ... リモートサービスで主装置側のデータ設定内容をパソコン側にアップロードするとき

リモート短縮データアップロード ... リモートサービスで主装置側のシステム短縮および電話機毎短縮データをパソコン側にアップロードするとき

初期状態でない主装置に「リモート主装置データダウンロード」を行うときは、必ず「リモート主装置データアップロード」を先に行ってください。

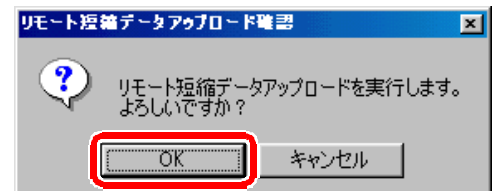
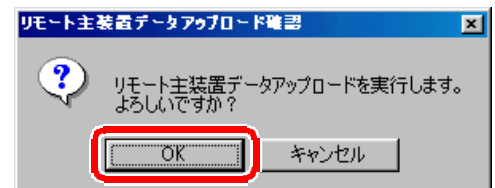


2 『リモート主装置データアップロード確認画面』または『リモート短縮データアップロード確認画面』が表示される。

これからアップロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

短縮データをアップロードしようとして「リモート主装置データアップロード」を間違って実行すると、パソコン側のデータ設定内容が変更されてしまいますので注意してください。
データ設定をアップロードしようとして「リモート短縮データアップロード」を間違って実行すると、パソコン側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。



3 発信先選択画面』が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号を確認し、ユーザーの主装置に設定してあるパスワードを入力する。

プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合...

使用するモデムを選択し、**モデムの設定** をクリックする。(操作 4に移る)

プログラム起動後、リモートサービスを実施している場合...

使用するモデムを確認し、**発信** をクリックする。(操作 6に移る)

使用するモデムが異なる場合は、初めてリモートサービスを行う場合と同様に操作します。

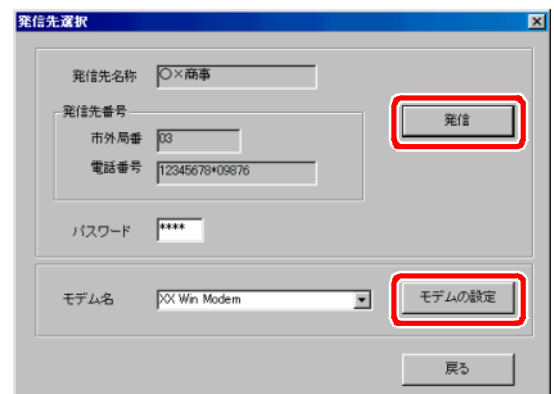
発信先番号に誤りがある場合は、「ユーザー情報設定」をやり直してください。(P3- 3参照)

各フィールドの説明

・発信先名称 ... 「ユーザー情報設定画面」の「ユーザー名」に登録されている内容が表示されます。

・発信先番号 ... 「ユーザー情報設定画面」の「ユーザー電話番号」に登録されている内容が表示されます。

・パスワード ... ユーザー主装置にデータ設定コマンド* 000で設定したパスワードを入力します。



Windows® 98SE、Windows® Me の場合

『モデムのプロパティ画面』が表示されるので、下記 ~ の設定を行う。

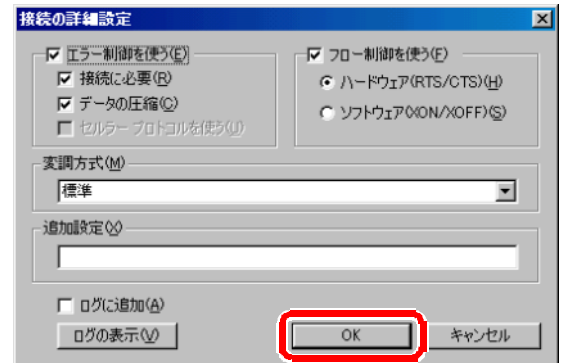
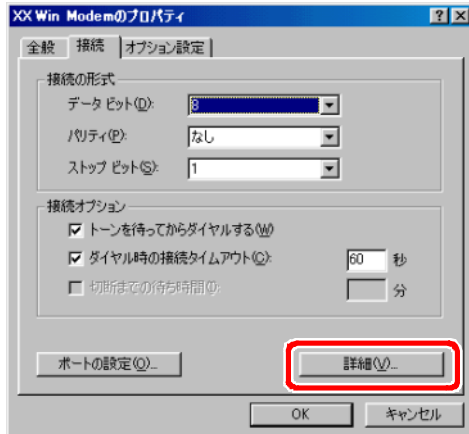
プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合は、下記の設定を行ってください。(本設定がないと通信できません。)

全般]タブで最高速度を「38400」に設定する。

接続]タブを選択して「詳細(V)」をクリックする。

接続の詳細設定画面』となるので、「エラー制御を使う(E)」、「フロー制御を使う(F)」をチェックし、右下画面のように設定し、「OK」をクリックする。

『モデムのプロパティ画面』で「OK」をクリックする。



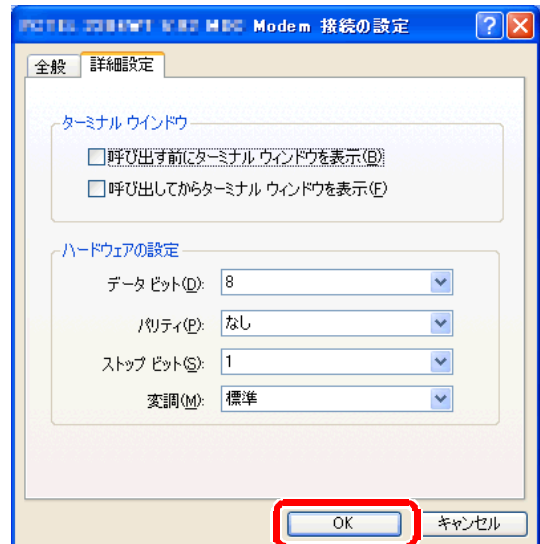
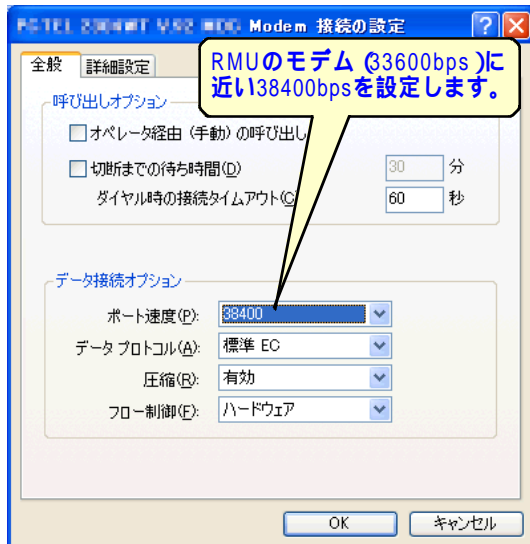
Windows® 2000、Windows® XP の場合

『モデム接続の画面』が表示されるので、下記 ~ の設定を行う。

インストール後、初めてリモートサービスを行う場合は、下記の設定を行ってください。(本設定がないと通信できません。)

全般]タブを選択し、ポート速度を「38400」、圧縮を「有効」、フロー制御を「ハードウェア」に設定する。

詳細設定]タブを選択し、下図のように設定したら「OK」をクリックする。



お知らせ

Windows® 98SEまたはWindows® Meのパソコンで、使用するモデムが「パソコンリモートサービス」専用の場合は、下記の設定を行うと毎回モデムの設定を行う必要がありません。

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [モデム] 使用するモデムを選択

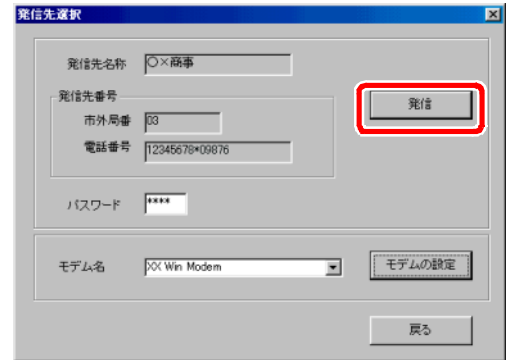
[プロパティ(R)]をクリックする

手順4(上記)と同様に設定する

Windows® 2000またはWindows® XPの場合は、手順4(上記)の設定を一度行えば、以降は設定不要です。

5

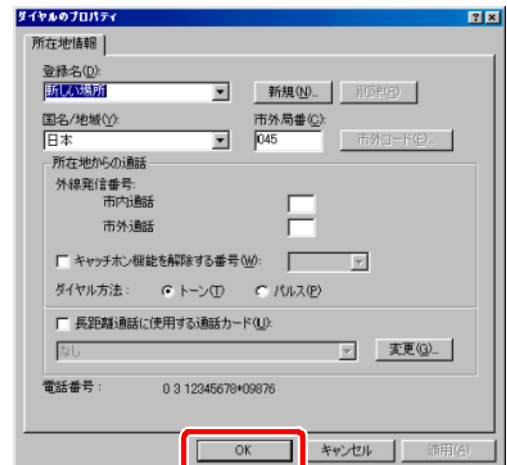
発信先選択画面』に戻るので、**発信** をクリックする。



6

Windows® 98SE、Windows® Me の場合
ダイヤルのプロパティ画面』が表示される。

必要があればダイヤル方法等を変更し、**OK** をクリックする。



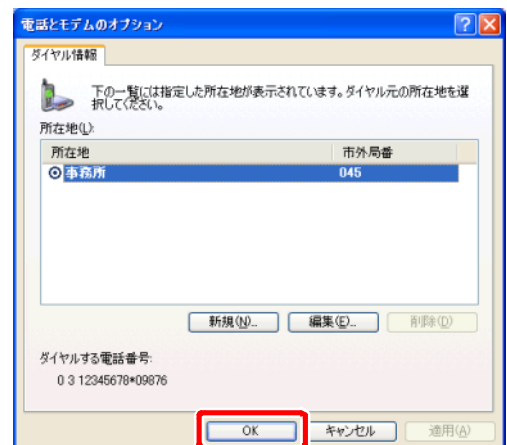
Windows® 2000、Windows® XP の場合
電話とモデムのオプション画面』が表示されるので、選択している所在地が良ければ、**OK** をクリックする。

所在地情報を新規追加する場合は、**新規 (N)** をクリックし市外局番やダイヤル方法を設定し、**適用 (A)** をクリックしてください。

電話とモデムのオプション画面』に戻ったら、**適用 (A)** をクリックしてください。

選択されている所在地情報を変更する場合は、**編集 (E)** をクリックし市外局番やダイヤル方法を変更し、**適用 (A)** をクリックしてください。

電話とモデムのオプション画面』に戻ったら、**適用 (A)** をクリックしてください。



キャンセル をクリックしても、発信を中止することはできません。(**キャンセル** をクリックした場合は、本画面の変更を反映せずに発信となります。)

発信を中止する場合は、「リモート通信画面』になってから **切断** をクリックしてください。

「回線未サポートエラー」が表示された場合は、本プログラムの再起動が必要です。最初から操作をやり直してください。(操作 7で通信を切断したとき、タイミングによって発生する場合があります。)

7

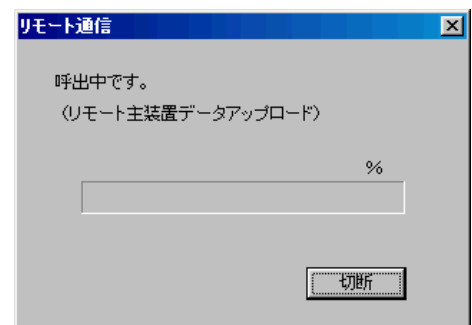
リモート通信画面』が表示される。
(右図はリモート主装置データアップロードの例)

現在の通信状態が表示されます。

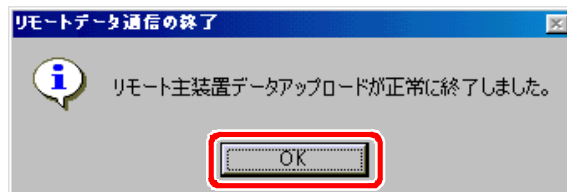
- ・呼出時：呼出中です。」
- ・接続時：接続しました。」
- ・パスワードチェック中：パスワードチェック中です。」
- ・通信中：ユーザ主装置と通信中です。」
インジケータに進行状況 (%) を表示します。
- ・通信完了：「リモートデータ通信を終了しました。」

呼出中です。」が表示されている間は、**切断** をクリックすると通信を切断し 発信先選択画面』に戻ります。

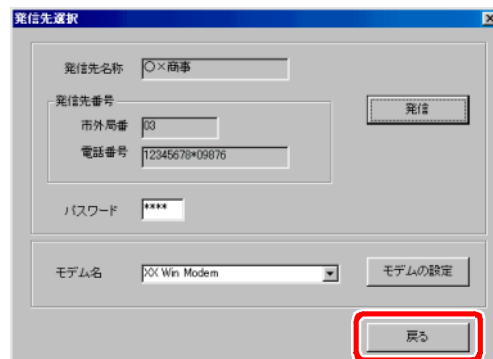
エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると 発信先選択画面』に戻ります。



- 8 アップロードが完了すると『リモートデータ通信の終了画面』が表示されますので、**OK** をクリックします。

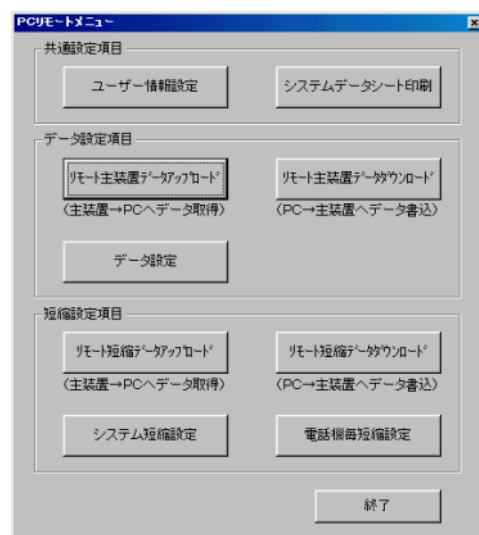


- 9 発信先選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



- 10 『PCリモートメニュー画面』に戻る。

データ設定以外に短縮データ(または短縮データ以外にデータ設定)もアップロードする場合は、操作 1 から繰り返します。



ご注意

リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

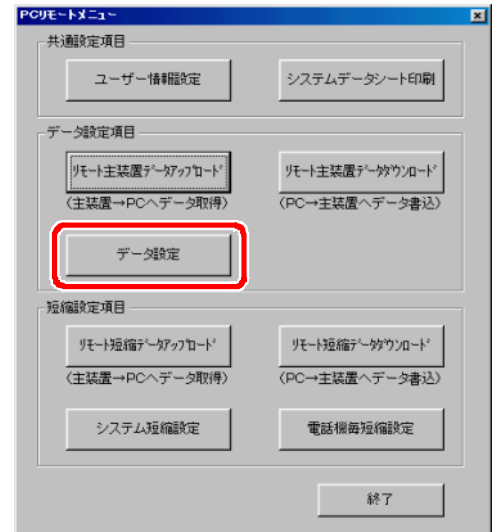
エラー画面の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P3 - 2)まで戻ってからアップロードをやり直してください。パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の [設定] タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

リモート通信中は、電話機からの電子電話帳登録ができなくなりますので、お客様に説明をお願いします。

5. データ設定

システムデータの設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。(第2部 《パソコンデータ設定編》と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で、**データ設定** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

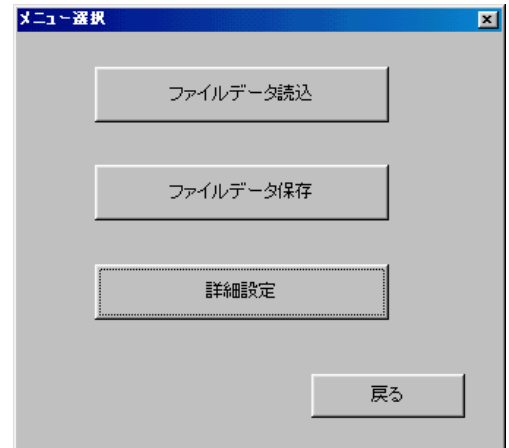
各ボタンの説明

ファイルデータ読込 ... 事前設定したデータ設定ファイルやバックアップしたデータ設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にあるデータ設定内容をファイル保存します。

詳細設定 ... パソコン上でデータ設定を変更します。

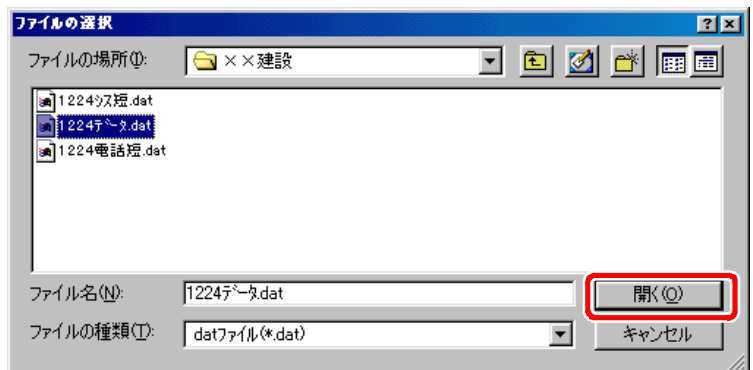
戻る ... 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。



(1) **ファイルデータ読込** をクリックした場合

既に作成済のファイルを修正するときは、**詳細設定**を行う前に**ファイルデータ読込**を行ってください。

読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



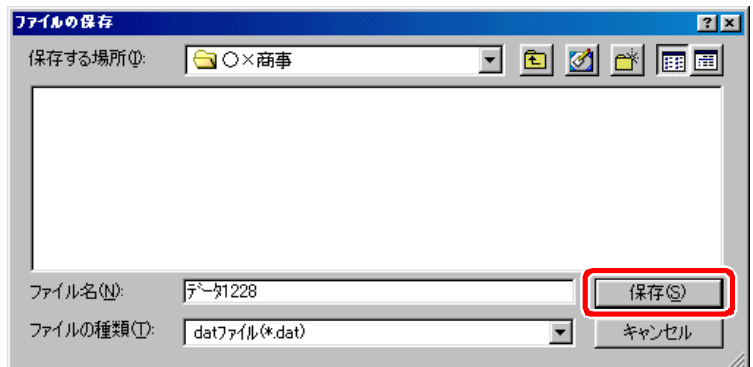
(2) **ファイルデータ保存** をクリックした場合

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックします。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+データ設定、データ、等)



3

操作2の『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックすると、『データ設定画面』となる。

データ設定コマンド区分毎にタブが分かれています。変更したいコマンドのタブやボタンを選択します。

電話機からの入力と異なり、重複設定できないデータも入力することができますので、**登録** をクリックする前に重複設定がないか必ず確認してください。

4

設定変更を行い、**登録** をクリックする。

外線01、02の着信種別をダイヤルインにした例

DILの設定(*323、*300)を行った後、外線着信の各設定で、『データ設定 設定値エラー発生』が表示された場合は、*642を確認し、DIL対応電話機(*323)がDIL外線のテナントを使用可能か確認してください。(データ設定マニュアルの*323の説明も参照してください。)

外線番号	着信種別(*300)		着信警報(*320)	DIL対応電話機(*323)		DIL呼出不可時の外線切断(*327)	スラット着信(*331)		スラット先電話機(*333)	
	昼	夜		昼	夜		昼	夜	昼	夜
01	2	2	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
02	2	2	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
03	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
04	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
05	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
06	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
07	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000
08	0	0	<input type="checkbox"/>	000	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000	000

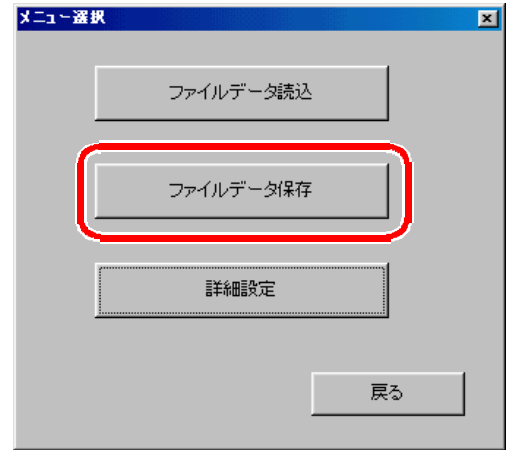
5

全て変更したら、『データ設定画面』で **戻る** をクリックする。

6

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

データ設定内容の保存に必要な容量は下記のとおりです。
 ・パソコンデータ設定用プログラム (Z2/S) :約 770kB
 ・パソコンデータ設定用プログラム (Z2/M) : 約 2.7MB
 ・パソコンデータ設定用プログラム (Z2/L) :約 2.3MB
 エンハンスによるコマンド追加等が行われる場合がありますので、上記容量より増える場合があります。



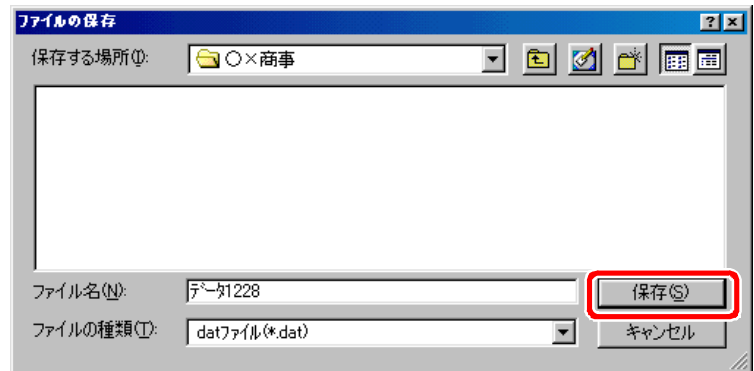
7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

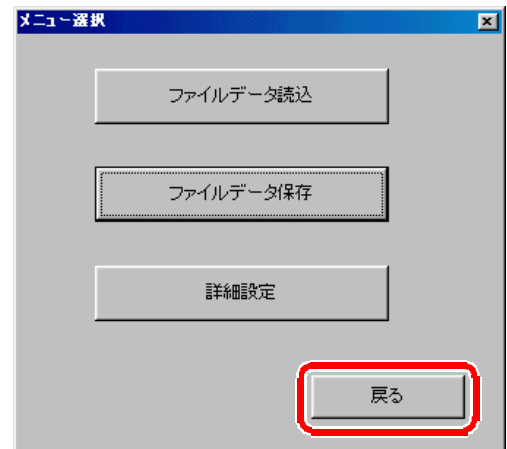
お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例：ユーザー名+データ設定、データ、等)



8

『メニュー選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



9

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...

P3-19を参照してください。

システム短縮や電話機毎短縮を設定する場合は...

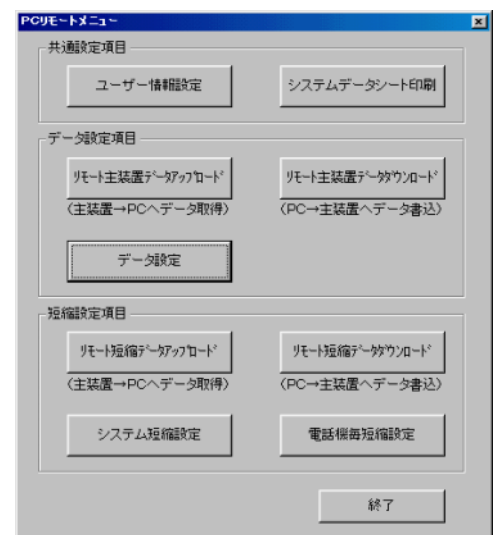
ダウンロードする前にシステム短縮や電話機毎短縮の設定/変更を行ってください。

・システム短縮設定 P3-11参照

・電話機毎短縮設定 P3-14参照

設定したデータを印刷する場合は...

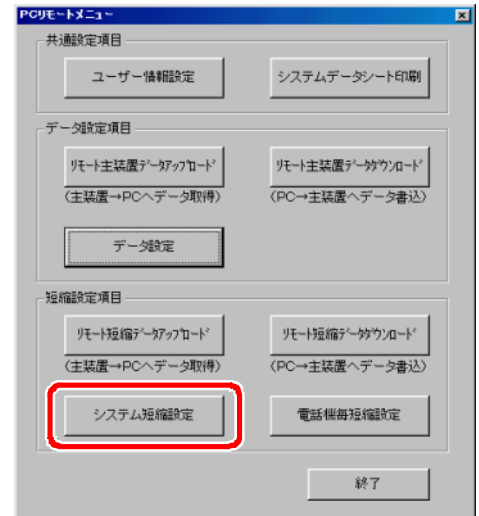
P3-17を参照してください。



6. システム短縮設定

システム短縮データの設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。(第2部《パソコンデータ設定編》と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

- 1 『PCリモートメニュー画面』で、**システム短縮設定** をクリックする。



- 2 『メニュー選択画面』となる。

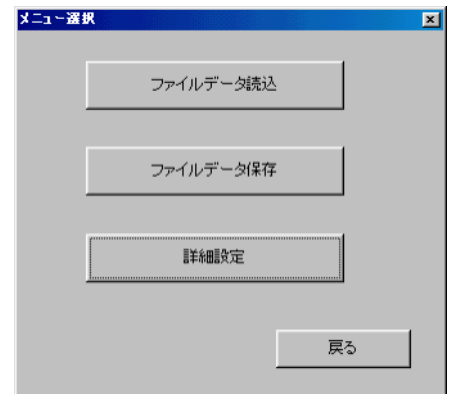
各ボタンの説明

ファイルデータ読込 ... ファイルに保存されているシステム短縮データを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にあるシステム短縮データをファイル保存します。

詳細設定 ... パソコン上でシステム短縮データを設定/変更します。

戻る ... 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。

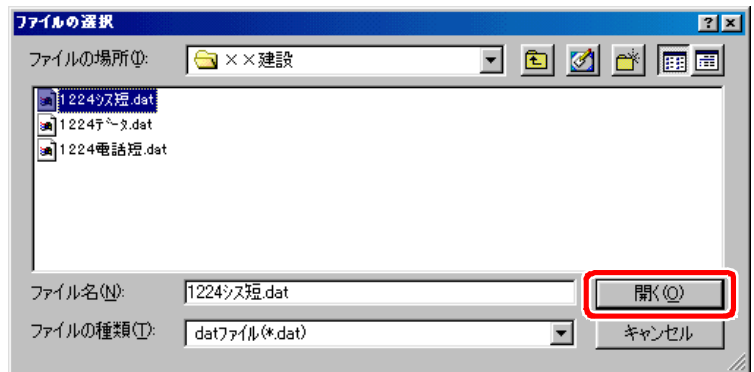


- (1) **ファイルデータ読込** をクリックした場合

既に作成済のファイルを修正するときは、**詳細設定** を行う前に **ファイルデータ読込** を行ってください。

読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。

短縮データのファイルを読み込むときは、先に「システム短縮設定」の「メニュー画面」で「詳細設定」をクリックして、「システム短縮メモリ数」を読み込む短縮データに合わせてください。P3-12参照
メモリ数より読み込む短縮データが多い場合は、メモリ数を越えた短縮データは読み込めません。



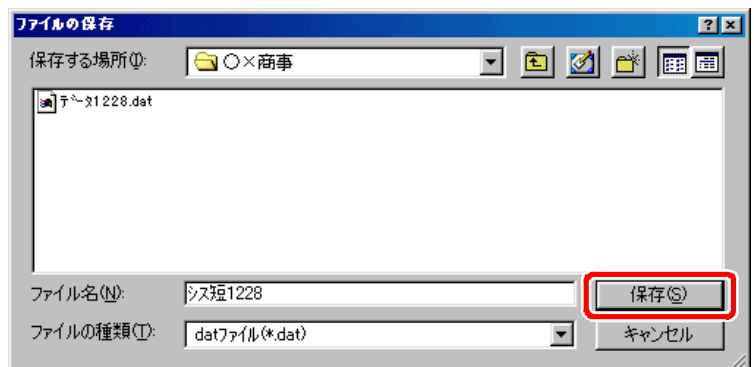
- (2) **ファイルデータ保存** をクリックした場合

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックします。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を付けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+システム短縮、シス短、等)



CSVファイルの読込やCSVファイルでの保存も可能です。「ファイルの種類(T)」で「csvファイル(*.csv)」を選択します。また、第2部のP2-11も必ず参照してください。

3

操作 2 の『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックすると、**詳細システム短縮設定画面** となる。

各ボタンの説明

メモリ数変更 ... システム短縮のメモリ数を変更します。

編集 ... 短縮データの設定/変更を行います。

戻る ... 『メニュー選択画面』に戻ります。

各フィールドの説明

- ・システム短縮登録残数... 空きのシステム短縮数を表示します。
- ・システム短縮メモリ数... 現在のシステム短縮メモリ数を表示します。
- ・短縮番号... 空き短縮番号の最若番を表示します。短縮番号を入力することにより、入力した短縮番号からの設定もできます。

システム短縮ダイヤルのメモリ数変更方法

『詳細システム短縮設定画面』の **メモリ数変更** をクリックすると、『システム短縮メモリ数変更画面』が表示されます。

変更したいメモリ数を選択し、**変更** をクリックします。メモリ数が変更され、『詳細システム短縮設定画面』に戻ります。

変更が不要な場合は、**キャンセル** をクリックすると、メモリ数を変更せずに『詳細システム短縮設定画面』に戻ります。

「システム短縮メモリ数」(コマンド*120)は本画面で変更します。「データ設定画面」では変更できません。

- ・**システム短縮メモリ数**を増やした場合、電話機毎短縮ダイヤルのみ再登録が必要です。
- ・**システム短縮メモリ数**を減らした場合は、全ての短縮ダイヤルの再登録が必要です。
- ・**システム短縮メモリ数**を変更した場合は、*9112、*9137の設定が消去されることがあります。

4

『詳細システム短縮設定画面』で **編集** をクリックすると、『システム短縮ダイヤル設定画面』となるので、電話番号や相手名称等を入力する。

入力が完了したら **登録** をクリックする。

番号登録：電話番号を入力します。半角数字24文字まで

漢字名称登録：相手名称を登録します。全角6文字(半角12文字)まで、英文字は大文字のみ

カナ名称登録：電話帳検索で使用するカナ名称を登録します。半角12文字まで、英文字は大文字のみ

グループ登録：短縮のグループ番号1~7を選択します。

[Tab]キーで各入力項目の移動、[Page Up]/[Page Down]キーで20行単位の移動が可能です。また、スクロールマウスも使用可能です。

戻る をクリックすると、入力した全てのデータを取り消して『詳細システム短縮設定画面』に戻ります。

短縮番号	番号登録	漢字名称登録	カナ名称登録	グループ登録
000	0612345678	大阪支社	オオサカシヤ	1
001	0521234567	名古屋支店	ナゴヤシヤ	1
002	0901111111	録木携帯	スズキケイタイ	2
003	0902222222	斉藤携帯	サイトウケイタイ	2
004	0903333333	佐藤携帯	サトウケイタイ	2
005	0451234567	青木商事	アオキョウジ	3
006	0451235678	佐々木工業	ササキコウギョウ	3
007	0904444444	中島携帯	ナカシマケイタイ	2
008	04512346789	加藤商店	カトウショウテン	3
009				1
010				1
011				1
012				1
013				1
014				1
015				1
016				1
017				1
018				1
019				7

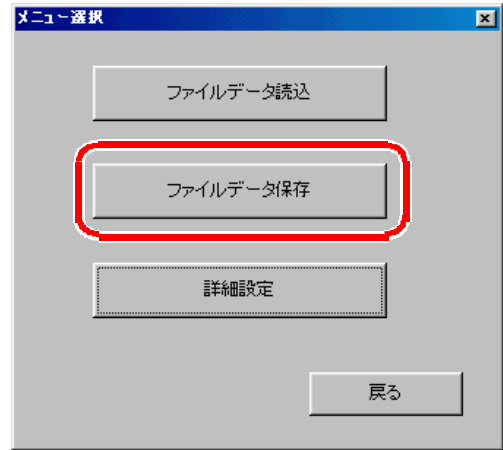
5

『詳細システム短縮設定画面』で、**戻る** をクリックする。

6

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

システム短縮データの保存に必要な容量は下記のとおりです。
 ・パソコンデータ設定用プログラム (並2 / S) :約 40kB
 ・パソコンデータ設定用プログラム (並2 / M) :約 60kB
 ・パソコンデータ設定用プログラム (並2 / L) :約 60kB
 『システム短縮のメモリ数』が最大 (600件または1000件)の場合に上記容量となります。



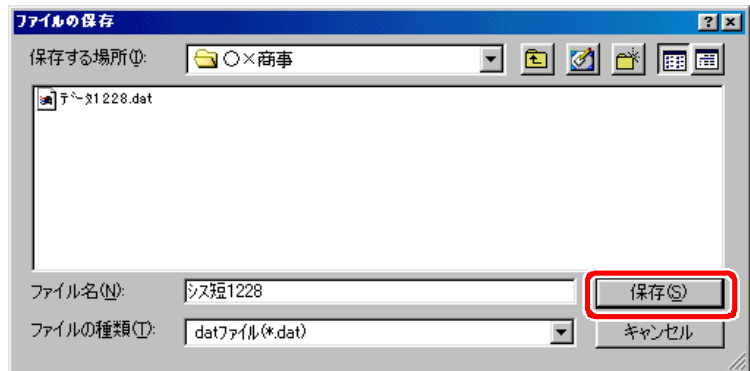
7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるシステム短縮データ内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

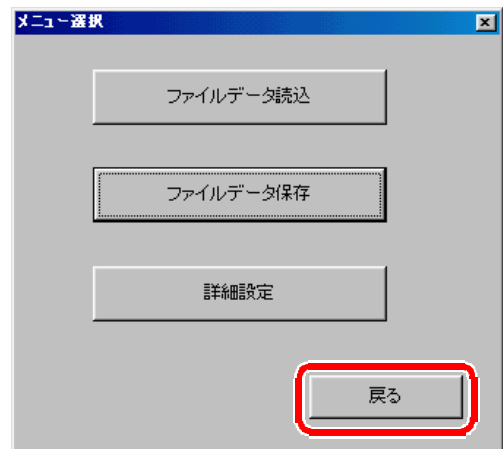
お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+システム短縮、シス短、等)



8

『メニュー選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



9

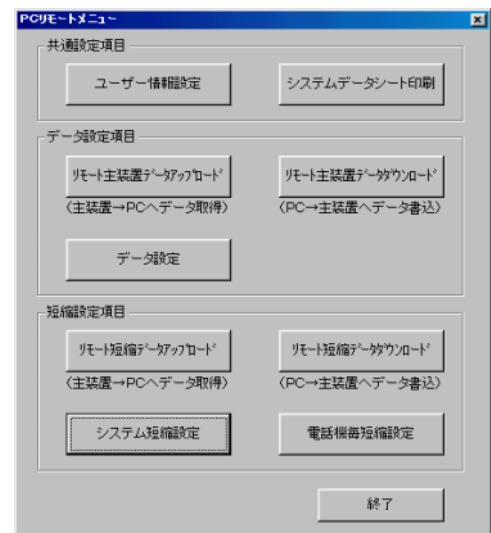
『PCリモートメニュー画面』に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...
P3- 19を参照してください。

データ設定や電話機毎短縮を設定する場合は...
ダウンロードする前にデータ設定や電話機毎短縮の設定/変更を行ってください。

- ・データ設定 P3- 8参照
- ・電話機毎短縮設定 P3- 14参照

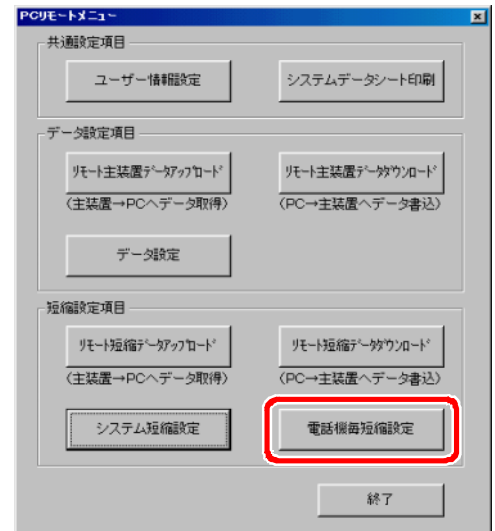
設定したデータを印刷する場合は...
P3- 17を参照してください。



7. 電話機毎短縮設定

電話機毎短縮データの設定や変更、ファイル保存やファイル読み込ができます。(第2部《パソコンデータ設定編》と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で、**電話機毎短縮設定** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

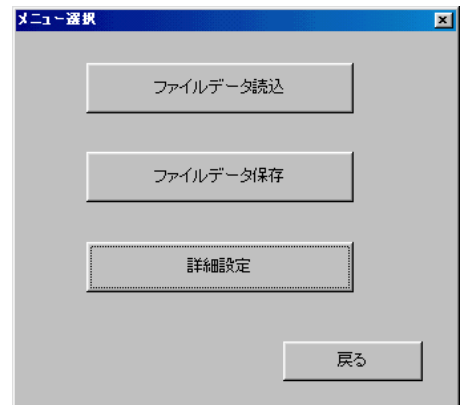
各ボタンの説明

ファイルデータ読み込 ... ファイルに保存されている電話機毎短縮データを読み込みます。

ファイルデータ保存 ... パソコン上にある電話機毎短縮データをファイル保存します。

詳細設定 ... パソコン上で電話機毎短縮データを設定/変更します。

戻る ... 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。

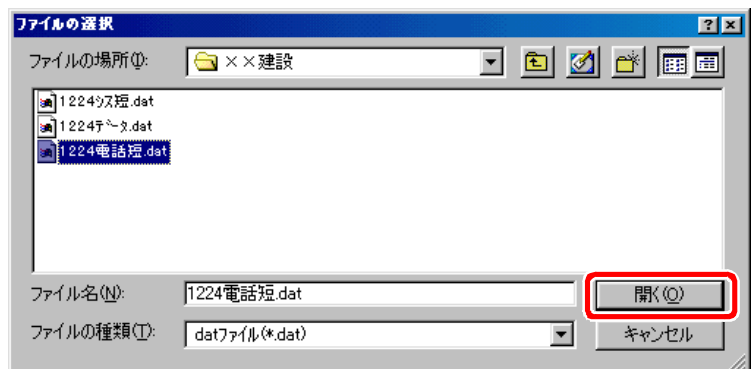


(1) **ファイルデータ読み込** をクリックした場合

既に作成済のファイルを修正するときは、**詳細設定** を行う前に **ファイルデータ読み込** を行ってください。

読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。

短縮データのファイルを読み込むときは、先に「システム短縮設定」の「メニュー画面」で「詳細設定」をクリックして、「システム短縮メモリ数」を読み込む短縮データに合わせてください。 P3-12参照



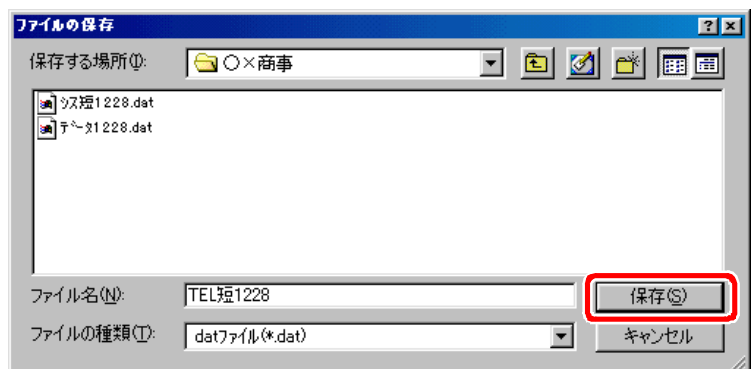
(2) **ファイルデータ保存** をクリックした場合

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックします。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。

お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+電話機短縮、TEL短、等)



3

操作 2 の『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックすると、**詳細電話機毎短縮設定画面** となる。

各ボタンの説明

編集 ... 短縮データの設定/変更を行います。

戻る ... 『メニュー選択画面』に戻ります。

各フィールドの説明

- ・電話機毎短縮メモリ数... 現在の電話機毎短縮メモリ数を表示します。
- ・電話機毎登録残数... 空きの電話機毎短縮数を表示します。
- ・電話機選択... 短縮を登録する電話機を選択します。
- ・短縮番号... 空き短縮番号の最若番を表示します。短縮番号を入力することにより、入力した短縮番号から短縮データの入力を行うこともできます。

4

『詳細電話機毎短縮設定画面』で、登録する電話機を選択してから **編集** をクリックすると、『電話機毎短縮ダイヤル設定画面』となるので、電話番号や相手名称等を入力する。

入力が完了したら **登録** をクリックする。

番号登録：電話番号を入力します。半角数字24文字まで

漢字名称登録：相手名称を登録します。全角6文字(半角12文字)まで、英文字は大文字のみ

カナ名称登録：電話帳検索で使用するカナ名称を登録します。半角12文字まで、英文字は大文字のみ

[Tab]キーで各入力項目の移動が可能です。

戻る をクリックすると、入力した全てのデータを取り消して『詳細電話機毎短縮設定画面』に戻ります。

收容位置	短縮番号	番号登録	漢字名称登録	カナ名称登録
80		09011112222	田中携帯	タナカイ
81		09011113333	佐々木携帯	ササキカイ
82		03999999999	自宅	シマ
83		0312349876	〇〇電気	マルマルデンキ
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				

5

『詳細電話機毎短縮設定画面』となる。

他の電話機の短縮を登録するときは、電話機を選択してから **編集** をクリックする。(操作 4に戻る)

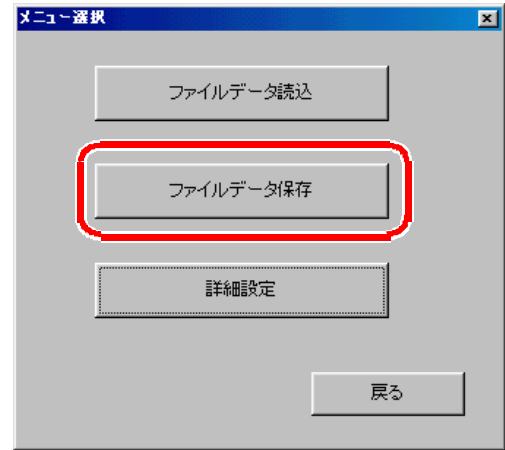
他に登録する電話機がないときは、**戻る** をクリックする。

6

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

電話機毎短縮データの保存に必要な容量は下記のとおりです。

- ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / S) :約 15kB
 - ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / M) :約 25kB
 - ・パソコンデータ設定用プログラム (㊦2 / L) :約 110kB
- 「システム短縮のメモリ数」が 80件の場合に上記容量となります。



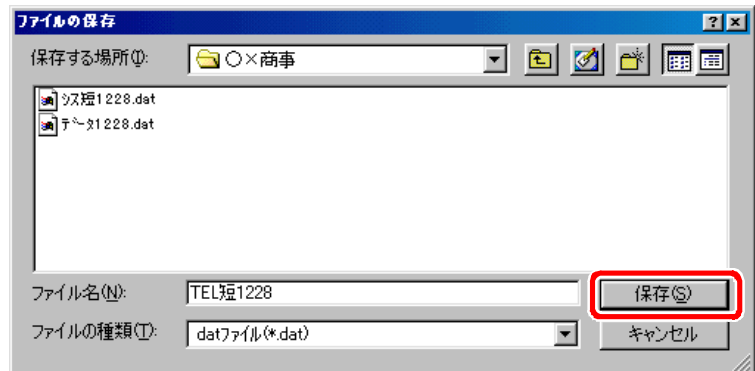
7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にある電話機毎短縮データ内容がファイル保存されます。(3章で登録した「担当者設定」の内容も一緒に保存されます。)

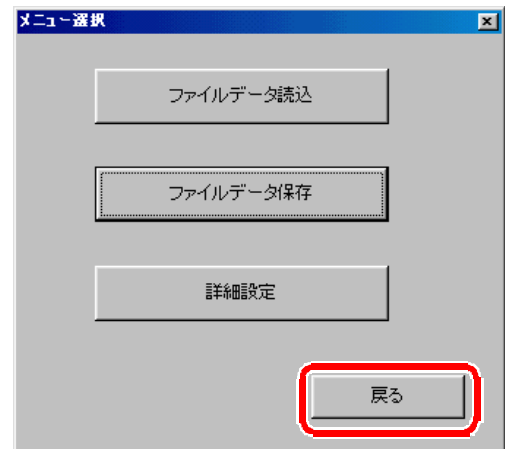
お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

データ設定、システム短縮、電話機毎短縮、共に同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を付けてファイル名を付けてください。(例 :ユーザー名 + 電話機短縮、TEL短、等)



8

『メニュー選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



9

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

設定したデータを主装置にダウンロードする場合は...

P3- 19を参照してください。

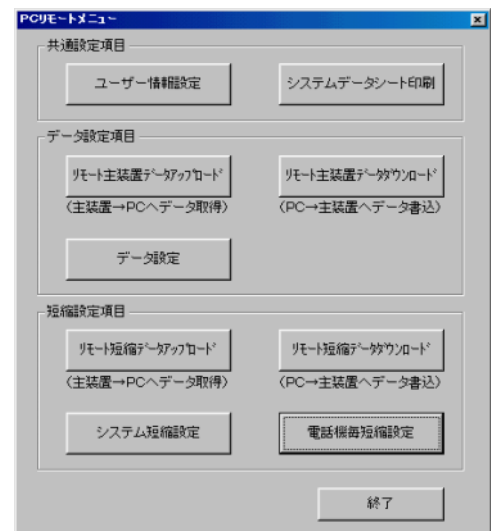
データ設定やシステム短縮を設定する場合は...

ダウンロードする前にデータ設定やシステム短縮の設定/変更を行ってください。

- ・データ設定 P3- 8参照
- ・システム短縮 P3- 11参照

設定したデータを印刷する場合は...

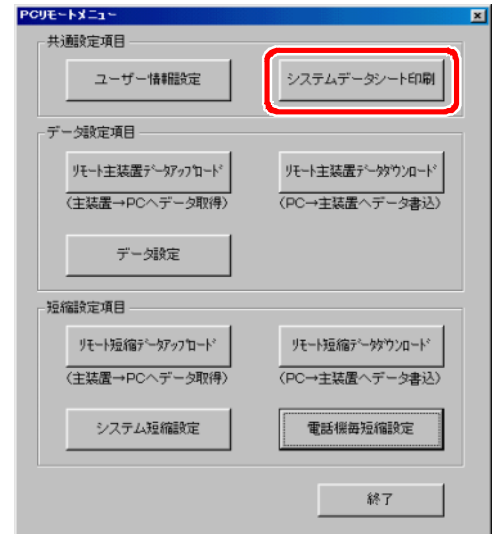
P3- 17を参照してください。



8. システムデータシート印刷

パソコンに接続したプリンタでデータ設定や短縮の設定内容を印刷できます。(第2部 《パソコンデータ設定編》と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3- 2を参照してください。)

- 1 『PCリモートメニュー画面』で、**システムデータシート印刷** をクリックする。



- 2 『システムデータシート印刷選択画面』となるので、印刷したい内容のボタンをクリックする。

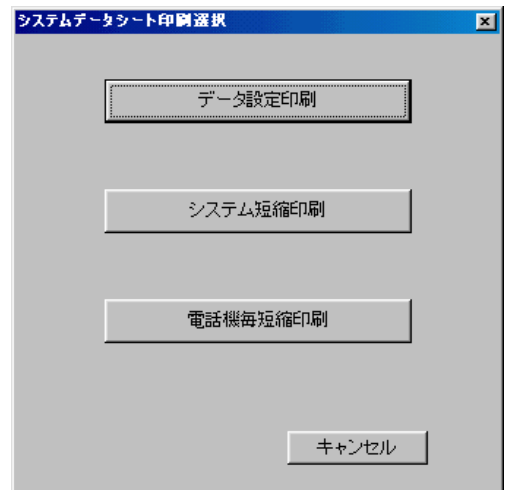
各ボタンの説明

データ設定印刷 ... パソコン上にあるデータ設定内容を印刷します。

システム短縮印刷 ... パソコン上にあるシステム短縮データを印刷します。

電話機毎短縮印刷 ... パソコン上にある電話機毎短縮データを印刷します。

キャンセル ... 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。



- 3 印刷種別選択画面』となります。

各ボタンの説明

プレビュー表示 ... 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。

(詳細は第2部のP2- 16参照)

プリンタの指定はできません。『通常使うプリンタ』に設定されているプリンタで印刷します。

印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

2ページ分が横並びで印刷されます。

ダイアログ表示 ... プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(詳細は第2部のP2- 17参照)

ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

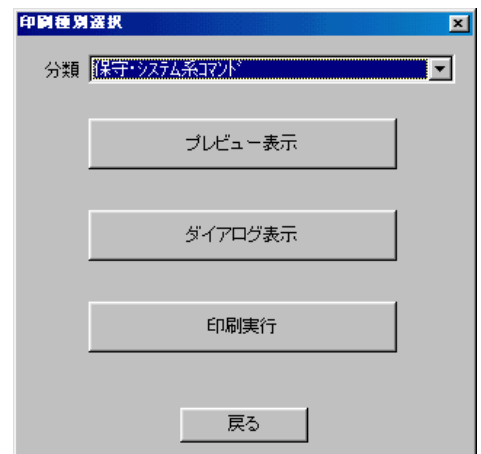
印刷実行 ... 印刷を実行します。

プリンタの指定はできません。『通常使うプリンタ』に設定されているプリンタで印刷します。

ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

2ページ分が横並びで印刷されます。

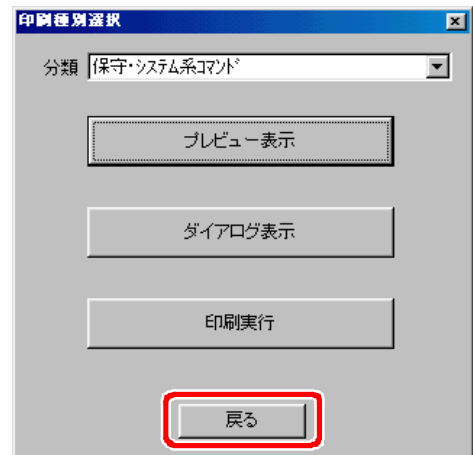
戻る ... 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



「分類」欄は、「パソコンデータ設定用プログラム (Z2/L) で「データ設定印刷」を選択したときのみ表示されます。プルダウンメニューから印刷したいコマンド分類を選択してから各ボタンをクリックしてください。

4

印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする。



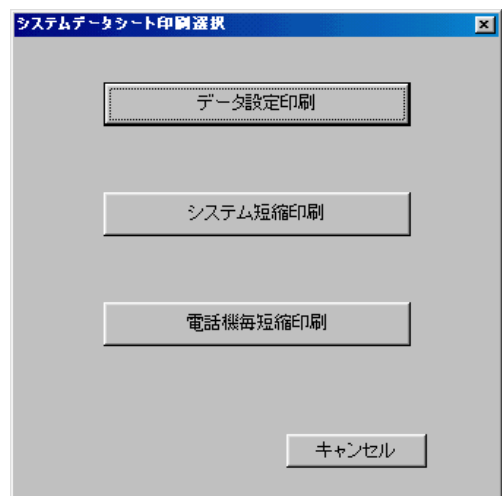
「分類」欄は、「パソコンデータ設定用プログラム (Z2/L) で「データ設定印刷」を選択したときのみ表示されます。

5

システムデータシート印刷選択画面』となる。

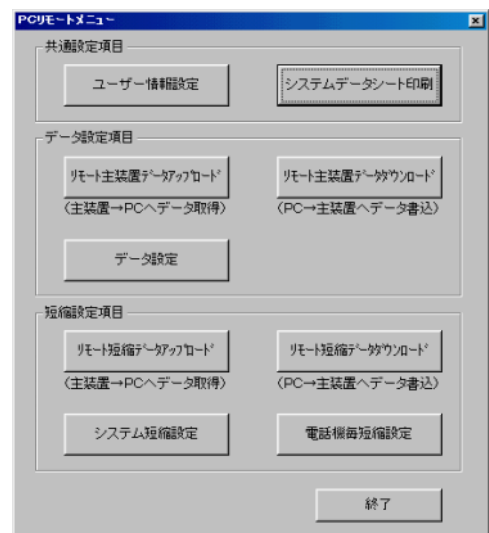
他に印刷したい内容があれば、該当するボタンをクリックし、操作3から繰り返します。

他に印刷したい内容がなければ、**キャンセル** をクリックします。



6

PCリモートメニュー画面』に戻る。



9. リモート主装置データダウンロード/ リモート短縮データダウンロード~プログラムの終了

パソコン側のデータ設定、システム短縮データ、電話機毎短縮データをリモートサービスによって主装置にダウンロードします。

データ設定、短縮データ (システム短縮および電話機毎短縮) は個別にダウンロードします。

ダウンロードを行う前に下記の何れかを行う必要があります。

・「ユーザー情報設定」でユーザー名や電話番号を登録する。(P3- 3参照)

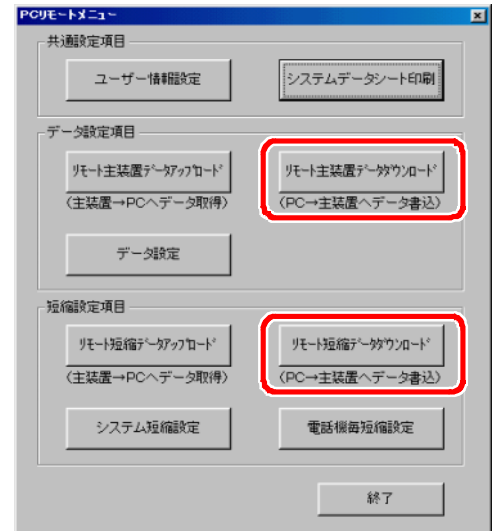
・ユーザー情報 (PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること) が保存されているデータ設定、システム短縮、電話機毎短縮の何れかのファイルを読み込む。(P3- 8、P3- 11、P3- 14参照)

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P3- 2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容を主装置側にダウンロードするとき

リモート短縮データダウンロード ... リモートサービスでパソコン側のシステム短縮および電話機毎短縮データを主装置側にダウンロードするとき



初期状態でない主装置に「リモート主装置データダウンロード」や「リモート短縮データダウンロード」を行うときは、必ず「リモート主装置データアップロード」や「リモート短縮データアップロード」を先に行ってください。

「リモート主装置データアップロード」や「リモート短縮データアップロード」を行っていない場合は、下記の操作を行ってください。

変更/作成を行ったデータ設定、システム短縮設定、電話機毎短縮設定のファイル保存 (必要なもの、未実施の場合) P3- 8、P3- 11、P3- 14参照

「リモート主装置データアップロード」、「リモート短縮データアップロード」の実行 (必要なもの) P3- 4参照

データ設定、システム短縮設定、電話機毎短縮設定のファイル読込 (で保存したもの) P3- 8、P3- 11、P3- 14参照
アップロードしたデータを一部修正する場合は、「ファイルデータ読込」は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正してください。ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。

「リモートデータ設定ダウンロード」、「リモート短縮データダウンロード」の実行 (必要なもの)

2

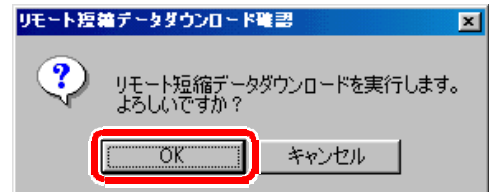
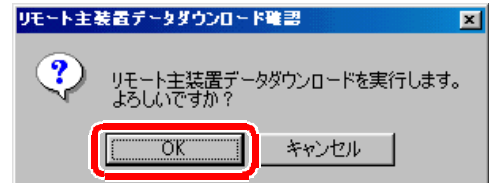
『リモート主装置データダウンロード確認画面』または『リモート短縮データダウンロード確認画面』が表示される。

これからダウンロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

短縮データをダウンロードしようとして『リモート主装置データダウンロード』を間違って実行すると、主装置側のデータ設定が変更されてしまいますので注意してください。

データ設定をダウンロードしようとして『リモート短縮データダウンロード』を間違って実行すると、主装置側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。



3

『発信先選択画面』が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号を確認し、ユーザーの主装置に設定してあるパスワードを入力する。

プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合...

使用するモデムを選択し、**モデムの設定** をクリックする。(操作 4に移る)

プログラム起動後、リモートサービスを実施している場合...

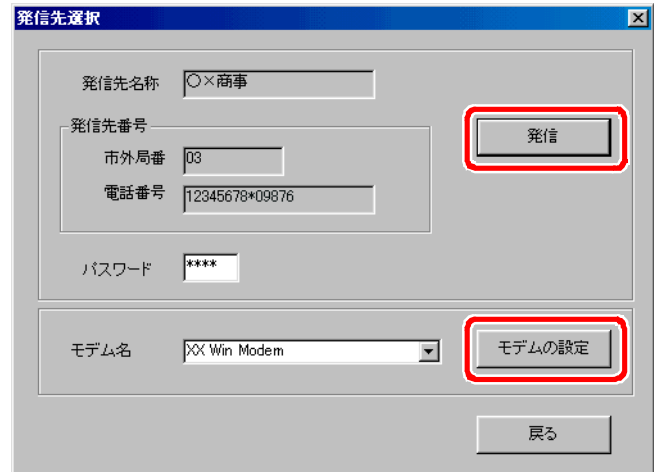
使用するモデムを確認し、**発信** をクリックする。(操作 6に移る)

使用するモデムが異なる場合は、初めてリモートサービスを行う場合と同様に操作します。

発信先番号に誤りがある場合は、「ユーザー情報設定」をやり直してください。(P3- 3参照)

各フィールドの説明

- ・発信先名称 ... 『ユーザー情報設定画面』の『ユーザー名』に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 ... 『ユーザー情報設定画面』の『ユーザー電話番号』に登録されている内容が表示されます。
- ・パスワード ... ユーザー主装置にデータ設定コマンド* 000で設定したパスワードを入力します。



Windows® 98SE、Windows® Me の場合

『モデムのプロパティ画面』が表示されるので、下記 ~ の設定を行う。

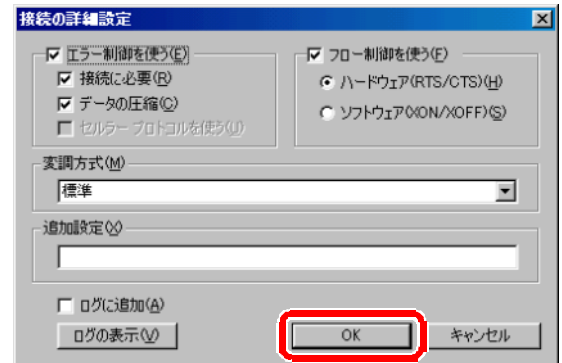
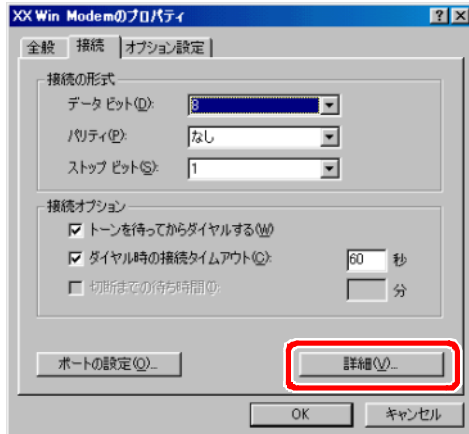
プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合は、下記の設定を行ってください。(本設定がないと通信できません。)

全般]タブで最高速度を「38400」に設定する。

接続]タブを選択して「詳細(V)」をクリックする。

接続の詳細設定画面』となるので、「エラー制御を使う(E)」、「フロー制御を使う(F)」をチェックし、右下画面のように設定し、「OK」をクリックする。

『モデムのプロパティ画面』で「OK」をクリックする。



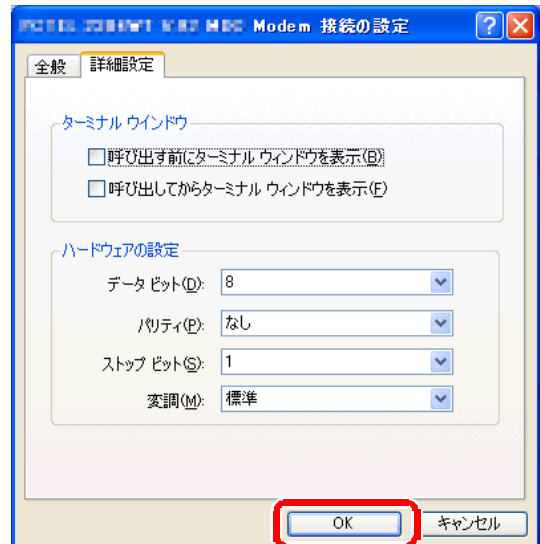
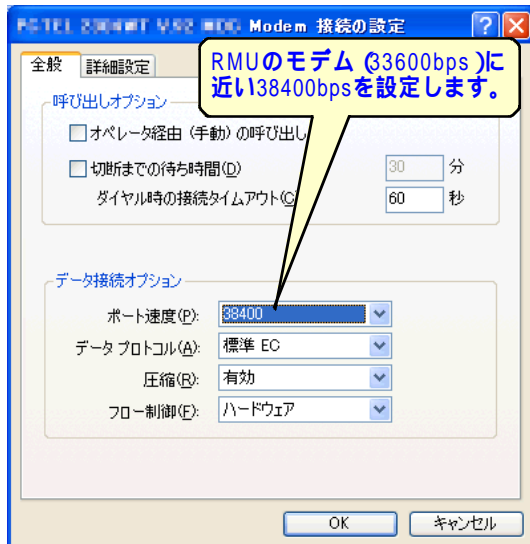
Windows® 2000、Windows® XP の場合

『モデム接続の画面』が表示されるので、下記 ~ の設定を行う。

インストール後、初めてリモートサービスを行う場合は、下記の設定を行ってください。(本設定がないと通信できません。)

全般]タブを選択し、ポート速度を「38400」、圧縮を「有効」、フロー制御を「ハードウェア」に設定する。

詳細設定]タブを選択し、下図のように設定したら「OK」をクリックする。



お知らせ

Windows® 98SEまたはWindows® Meのパソコンで、使用するモデムが「パソコンリモートサービス」専用の場合は、下記の設定を行うと毎回モデムの設定を行う必要がありません。

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [モデム] 使用するモデムを選択

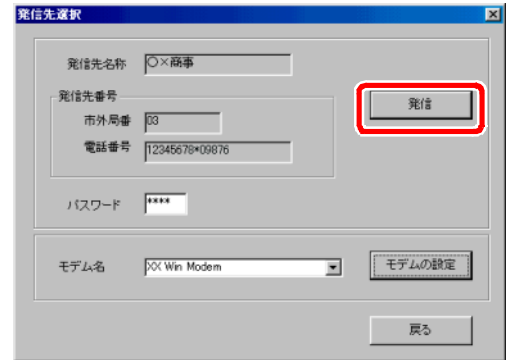
[プロパティ(R)]をクリックする

手順4(上記)と同様に設定する

Windows® 2000またはWindows® XPの場合は、手順4(上記)の設定を一度行えば、以降は設定不要です。

5

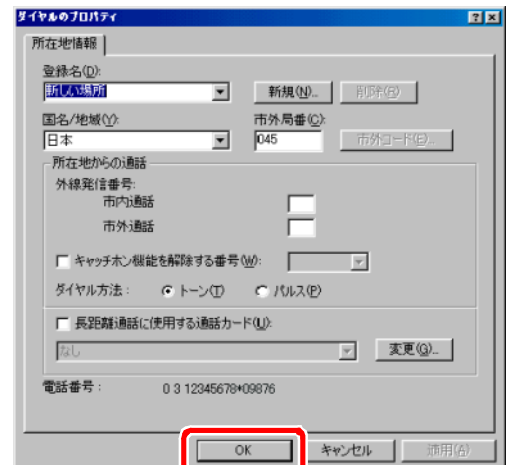
発信先選択画面』に戻るので、**発信** をクリックする。



6

Windows® 98SE、Windows® Me の場合
『ダイヤルのプロパティ画面』が表示される。

必要があればダイヤル方法等を変更し、**OK** をクリックする。



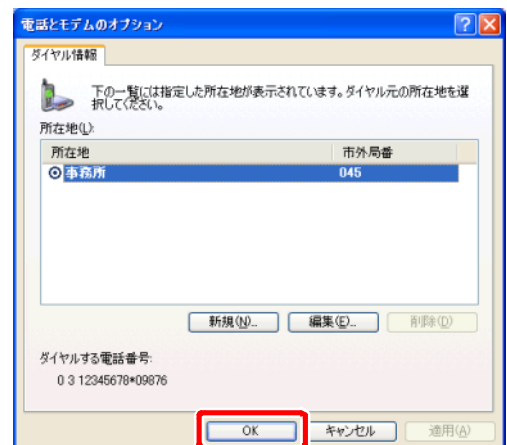
Windows® 2000、Windows® XP の場合
『電話とモデムのオプション画面』が表示されるので、選択している所在地が良ければ、**OK** をクリックする。

所在地情報を新規追加する場合は、**新規 (N)** をクリックし市外局番やダイヤル方法を設定し、**適用 (A)** をクリックしてください。

電話とモデムのオプション画面』に戻ったら、**適用 (A)** をクリックしてください。

選択されている所在地情報を変更する場合は、**編集 (E)** をクリックし市外局番やダイヤル方法を変更し、**適用 (A)** をクリックしてください。

電話とモデムのオプション画面』に戻ったら、**適用 (A)** をクリックしてください。



キャンセル をクリックしても、発信を中止することはできません。（**キャンセル** をクリックした場合は、本画面の変更を反映せずに発信となります。）

発信を中止する場合は、『リモート通信画面』になってから **切断** をクリックしてください。

『回線未サポートエラー』が表示された場合は、本プログラムの再起動が必要です。最初から操作をやり直してください。（操作 7で通信を切断したとき、タイミングによって発生する場合があります。）

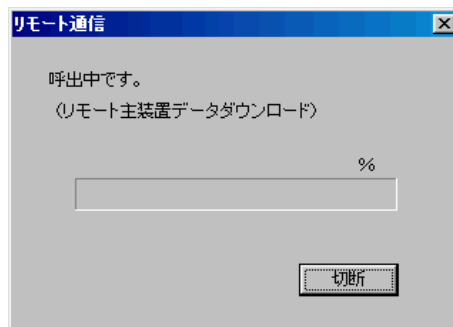
7

『リモート通信画面』が表示される。

(右図はリモート主装置データダウンロードの例)

現在の通信状態が表示されます。

- ・呼出時：「呼出中です。」
- ・接続時：「接続しました。」
- ・パスワードチェック中：「パスワードチェック中です。」
- ・通信中：「ユーザ主装置と通信中です。」
インジケータに進行状況 (%) を表示します。
- ・通信完了：「リモートデータ通信を終了しました。」

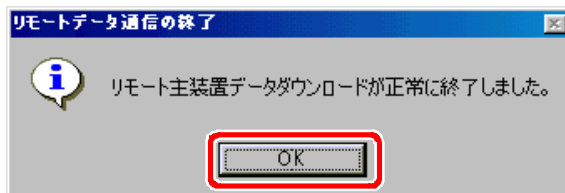


「呼出中です。」が表示されている間は、**切断** をクリックすると通信を切断し、『発信先選択画面』に戻ります。

エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると、『発信先選択画面』に戻ります。

8

ダウンロードが完了すると『リモートデータ通信の終了画面』が表示されますので、**OK** をクリックします。



ご注意

リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となりシステムの初期化が必要です。)

リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P3- 2)まで戻ってからダウンロードをやり直してください。

必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。

他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の [設定] タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

リモート通信中は、電話機からの電子電話帳登録ができなくなりますので、お客様に説明をお願いします。

プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定、RECU再生ボタンの自動割り付けを含む)、スタートラインDの設定、バーチャルラインの設定等、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ残りが発生することがありますが、故障ではありません。システムの再立ち上げを行うと正常に戻ります。

また、会議通話数の変更を行った場合も、ダウンロード終了後にシステムの再立ち上げが必要です。

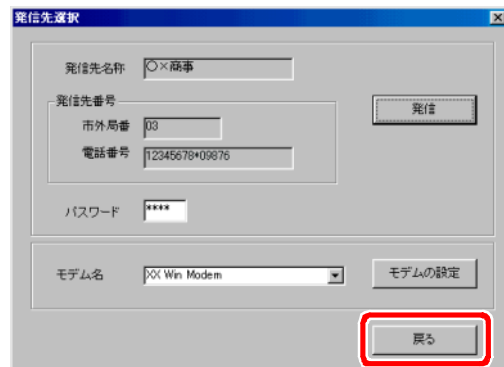
お客様に事情を説明し、下記操作をお願いしてください。

主装置の電源スイッチをOFFにする。

約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

9

発信先選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。

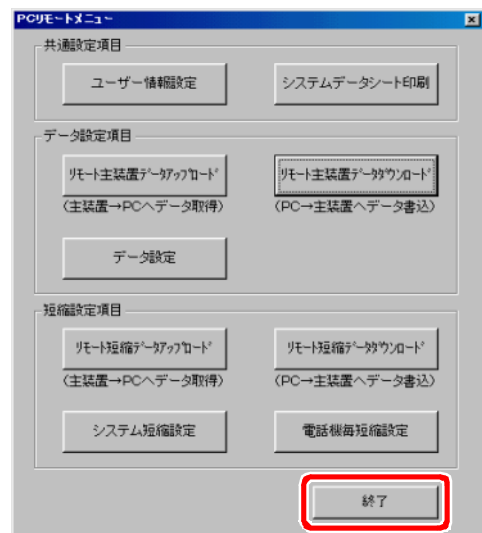


10

PCリモートメニュー画面』に戻る。

データ設定以外に短縮データ(または短縮データ以外にデータ設定)もダウンロードする場合は、操作 1から繰り返します。

作業が全て終了の場合は、**終了** をクリックします。



11

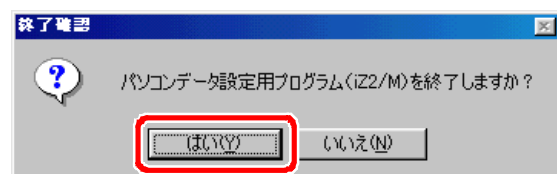
メイン画面』が表示されるので、**終了** をクリックする。



12

終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。

いいえ(N) をクリックするとメイン画面』に戻ります。



10. お客様と通話後にリモートサービスを行うとき

お客様と通話したあと、通話をしていた回線を使ってリモートサービスを行うことができます。

通話後にリモートサービスに入るため、お客様側の操作も必要となります。簡単な操作ですので、お客様に操作方法を説明してください。

お客様に電話をかけるときはモデムに接続した単独電話機からダイヤルしますが、「ユーザー情報設定」で電話番号を入力しないとリモートサービスを行えません。(P3- 3参照)

使用できるモデムは単独電話機が外付けできるタイプで、「Manual Dial」機能をサポートしているものに限りです。

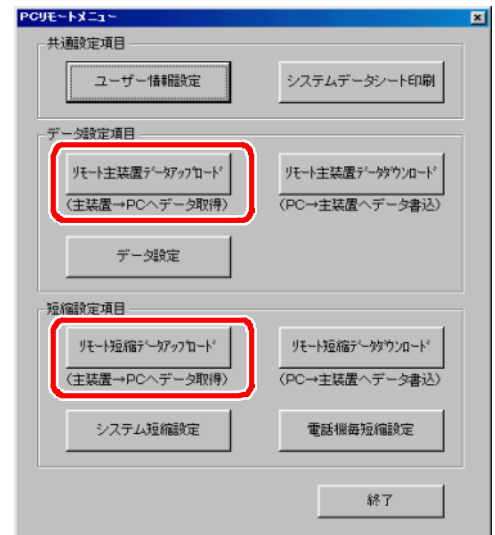
下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P3- 2を参照してください。)
リモート主装置データアップロードを例に説明していますが、他のリモートサービスも同様です。

1 『PCリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データアップロード ... リモートサービスで主装置側のデータ設定内容をパソコン側にアップロードするとき

リモート短縮データアップロード ... リモートサービスで主装置側のシステム短縮および電話機毎短縮データをパソコン側にアップロードするとき

初期状態でない主装置に「リモート主装置データダウンロード」を行うときは、必ず「リモート主装置データアップロード」を先に行ってください。

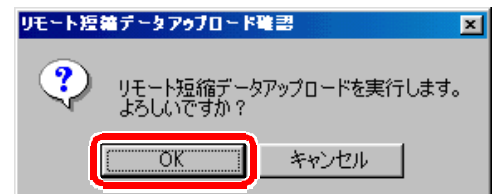
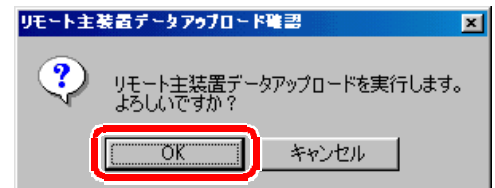


2 『リモート主装置データアップロード確認画面』または『リモート短縮データアップロード確認画面』が表示される。

これからアップロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

短縮データをアップロードしようとして「リモート主装置データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側のデータ設定内容が変更されてしまいますので注意してください。
データ設定をアップロードしようとして「リモート短縮データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。



3 発信先選択画面』が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号を確認し、ユーザーの主装置に設定してあるパスワードを入力する。

プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合...

使用するモデムを選択し、**モデムの設定** をクリックする。
(操作 4に移る)

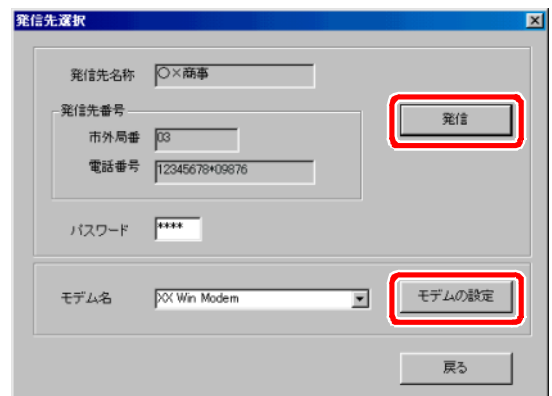
プログラム起動後、リモートサービスを実施している場合...

使用するモデムを確認し、**発信** をクリックする。(操作 6に移る)

使用するモデムが異なる場合は、初めてリモートサービスを行う場合と同様に操作します。

各フィールドの説明

- ・発信先名称 ... 『ユーザー情報設定画面』の『ユーザー名』に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 ... 『ユーザー情報設定画面』の『ユーザー電話番号』に登録されている内容が表示されます。
- ・パスワード ... ユーザー主装置にデータ設定コマンド* 000で設定したパスワードを入力します。



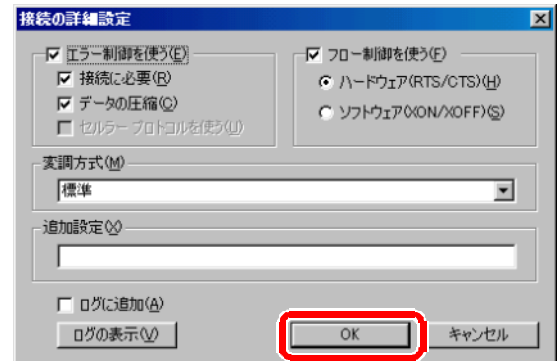
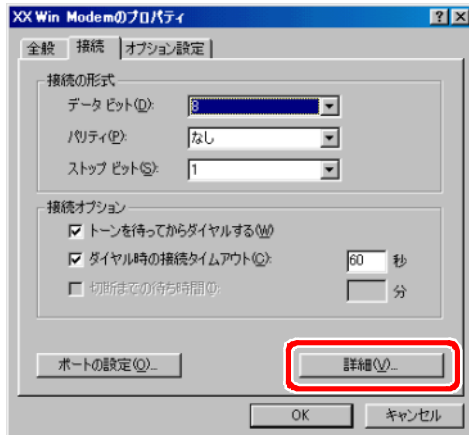
Windows® 98SE、Windows® Me の場合
『モデムのプロパティ画面』が表示されるので、下記 ~ の設定を行う。

プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合は、下記の設定を行ってください。(本設定がないと通信できません。)

[全般] タブで最高速度を「38400」に設定する。

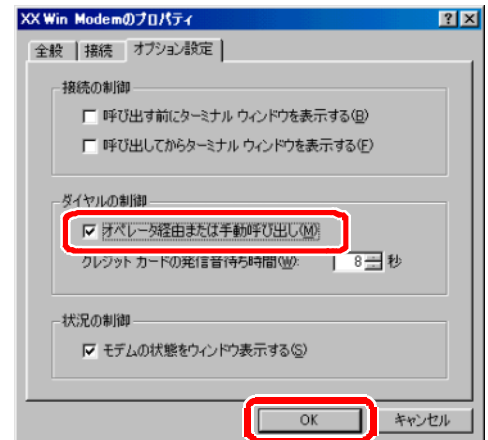
[接続] タブを選択して [詳細 (V)] をクリックする。

接続の詳細設定画面』となるので、「エラー制御を使う(E)」、「フロー制御を使う(F)」をチェックし、右下画面のように設定し、[OK] をクリックする。



[オプション設定] タブを選択して、『オペレータ経由または手動呼び出し(M)』をチェックし、[OK] をクリックする。

本設定が通話後のリモートサービスを行うために必要になります。



Windows® 2000、Windows® XP の場合

『モデム接続の画面』が表示されるので、下記 ~ の設定を行う

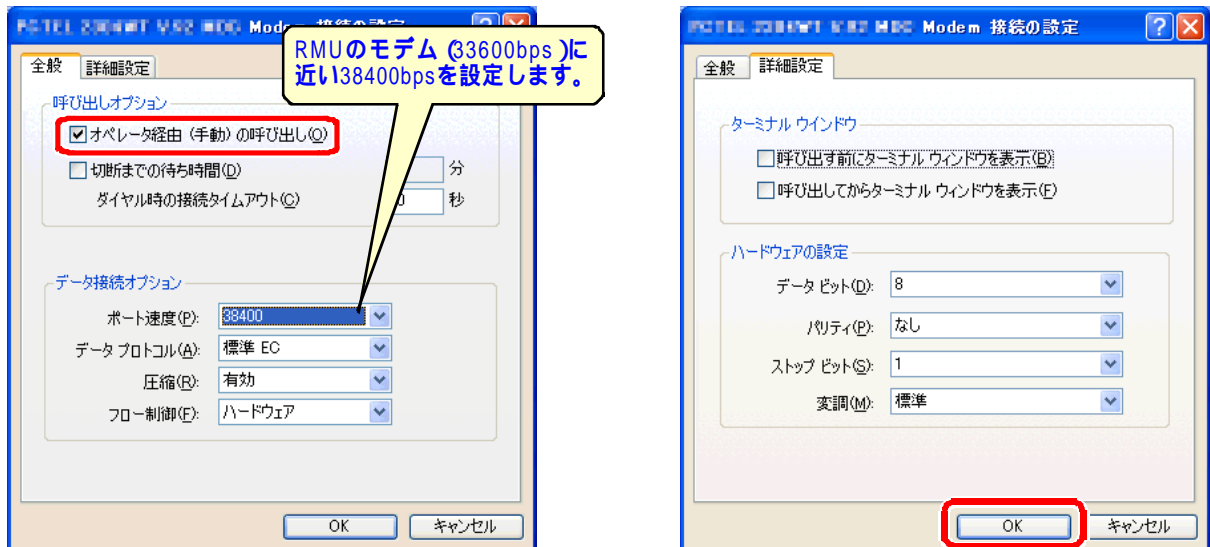
プログラム起動後、初めてリモートサービスを行う場合は、下記の設定を行ってください。(本設定がないと通信できません。)

[全般] タブを選択し、ポート速度を「38400」、圧縮を「有効」、フロー制御を「ハードウェア」に設定する。

[全般] タブを選択し、「オペレータ経由 (手動) の呼び出し(O)」をチェックする。

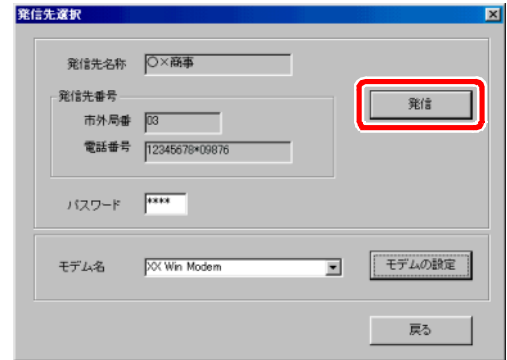
本設定が通話後のリモートサービスを行うために必要になります。

[詳細設定] タブを選択し、下図のように設定したら [OK] をクリックする。



5

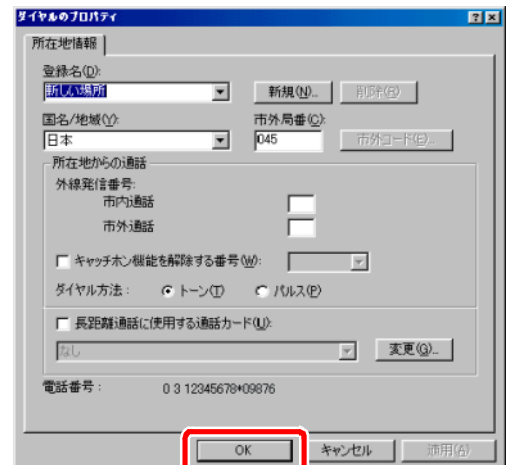
『発信先選択画面』に戻るので、**発信** をクリックする。



6

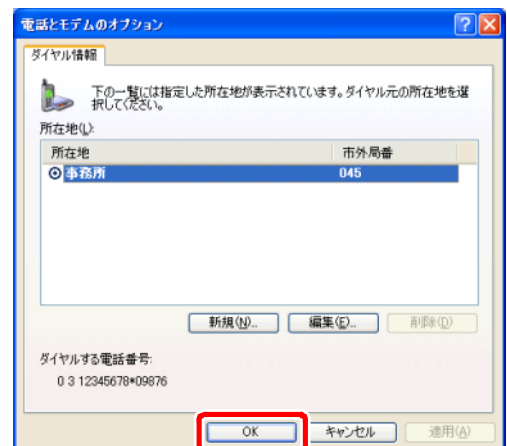
Windows® 98SE、Windows® Me の場合
『ダイヤルのプロパティ画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

実際の発信はモデムに接続した単独電話機から行いますので、本画面の設定内容で発信することはありません。



Windows® 2000、Windows® XP の場合
『電話とモデムのオプション画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

実際の発信はモデムに接続した単独電話機から行いますので、本画面の設定内容で発信することはありません。



キャンセル をクリックしても、発信を中止することはできません。（**キャンセル** をクリックした場合は、本画面の変更を反映せずに発信となります。）

発信を中止する場合は、『Manual Dial 画面』になってから **キャンセル** をクリックしてください。『エラー画面』が表示されたときは、**OK** をクリックすると発信者選択画面』に戻ります。

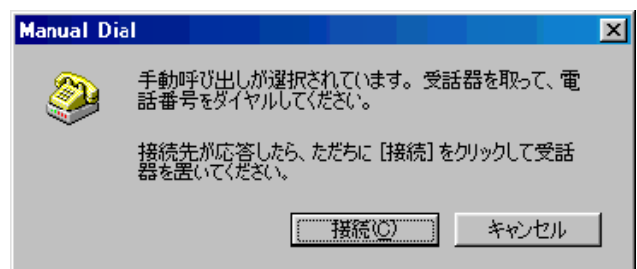
『回線未サポートエラー』が表示された場合は、本プログラムの再起動が必要です。最初から操作をやり直してください。（操作 7で通信を切断したとき、タイミングによって発生する場合があります。）

7

『Manual Dial 画面』が表示されるので、モデムに接続した単独電話機からダイヤルする。

『リモート通信画面』も同時に表示されます。右図はWindows® 98SEの例です。

『Manual Dial 画面』が一番上に表示されていないときは、タスクバーの **Manual Dial** をクリックして一番上に表示させてください。



8

お客様が電話に出たら、これからリモートサービスを行うことを伝え、お客様に下記操作を行ってもらおう。

- i** ボタンを押す **i** ランプが点灯します。
 通話している **外線** ボタン (緑点灯、周期的に 2回消える)を押す **i** ランプが早点滅します。
i ランプが早点滅しない場合は、しばらくしてから再度 **外線** ボタンを押します。
保留 ボタンを押し、ハンドセットを置く **i** ランプが消灯し、**外線** ランプが赤点灯します。

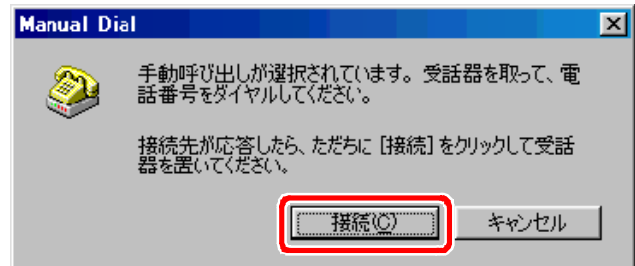
9

単独電話機からD Dの一時応答音が聞こえるので、単独電話機で下記の操作をする。

- #** + ユーザ用パスワード(4桁)を押す 保留音が聞こえます。
 ユーザ用パスワードはコマンド*083で設定、未設定時は **#** のみ押します。このとき、保留音は聞こえません。
0 + リモートサービス用パスワード(4桁) + **#** を押す
 リモートサービス用パスワードはコマンド*000で設定します。

ただちに『Manual Dial 画面』の **接続(C)** をクリックし、単独電話機を終話する

操作 が完了してから単独電話機を終話するまでを3秒以内に行ってください。
操作が遅れると、モデム通信が開始できなくなります。



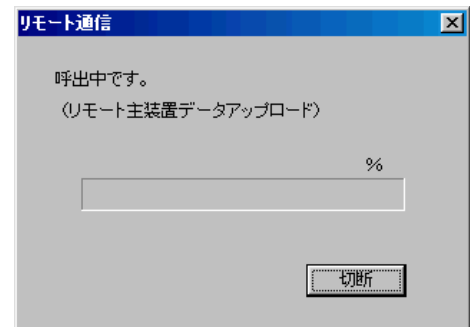
10

『Manual Dial 画面』が消え、『リモート通信画面』が表示される。(右図はリモート主装置データアップロードの例)

現在の通信状態が表示されます。

- ・呼出時：呼出中です。」
- ・接続時：接続しました。」
- ・パスワードチェック中：パスワードチェック中です。」
- ・通信中：ユーザ主装置と通信中です。」
インジケータに進行状況 (%) を表示します。
- ・通信完了：「リモートデータ通信を終了しました。」

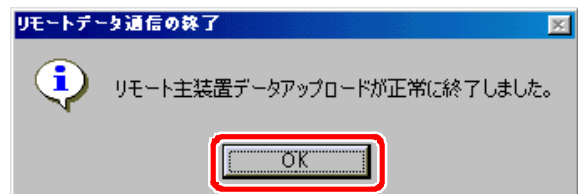
「呼出中です。」が表示されている間は、**切断** をクリックすると通信を切断し『発信先選択画面』に戻ります。
 エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると『発信先選択画面』に戻ります。



11

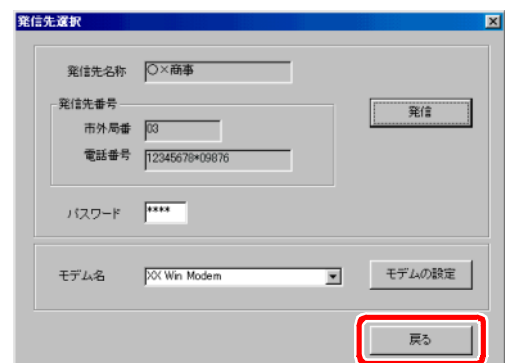
アップロードが完了すると『リモートデータ通信の終了画面』が表示されますので、**OK** をクリックします。

リモートサービス終了後は、回線が自動的に切断され、通話に戻ることはできません。



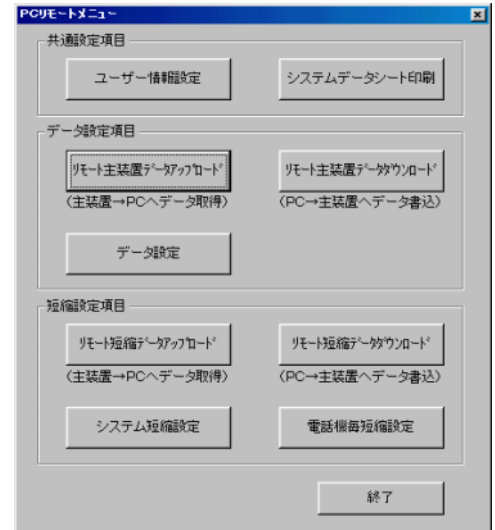
12

『発信先選択画面』に戻るので、**戻る** をクリックする。



『PCリモートメニュー画面』に戻る。

データ設定以外に短縮データ(または短縮データ以外にデータ設定)もアップロードする場合は、操作1から繰り返します。



ご注意

リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

エラーとなった場合は...

エラー画面の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P3-2)まで戻ってからアップロードをやり直してください。パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

リモート通信中は、電話機からの電子電話帳登録ができなくなりますので、お客様に説明をお願いします。